

# 実証事業実施12市町の 成果報告

## グループB

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 岡山県 備前市

自治体名：岡山県 備前市

担当課名：文化スポーツ振興課

電話番号：0869-64-1837

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	258 km <sup>2</sup>
人口	30,207 人 (R7.12.31現在)
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	614 人 (R7.5.1現在)
部活動数 (運動部活動のみ)	19部活
地域クラブ活動数	5 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	未設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未設置

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

現在、本市の運動部活動は、アーチェリー部、陸上競技部、剣道部、ソフトテニス部の4つがクラブとして活動している。

少子化の進展により、中学校の生徒数や教職員数が減少しており、部活動は廃部や休部、活動の縮小に追い込まれていく傾向にある。生徒にとっては自分のやりたい部活動がなく、あったとしても少ない部員数であることなどにより活動が低調となり、魅力を感じられない状況が既に発生している。このため、生徒の部活動離れを引き起こすという悪循環が生じ、部活動が衰退する傾向にある。

また、教職員の部活動指導に係る負担が増しており、学校における働き方改革が求められていることや、他方で生徒の育成は学校、家庭及び地域において担われている中で、地域のスポーツ・文化芸術団体や指導者、施設などの資源と学校との連携・協働が十分ではない状況もみられる。

### 【運動部】

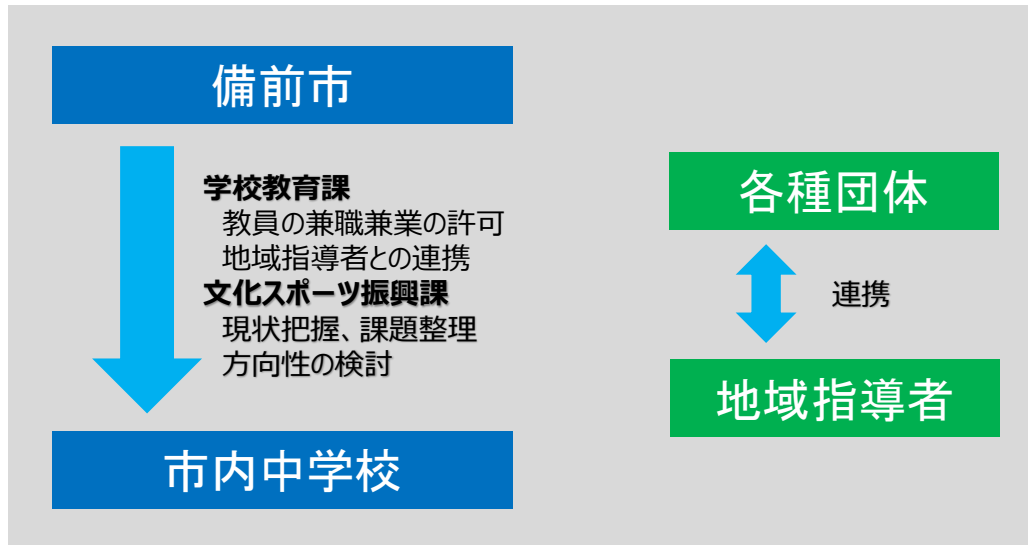
野球、サッカー、卓球、バスケットボール、バドミントン、陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、アーチェリー、剣道

19部活動

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

###### ●学校教育課

希望する教員の兼職兼業の許可、地域指導者との連携

###### ●文化スポーツ振興課

(R6.7.1の機構改革により首長部局から教育委員会へ組織移管)  
現状把握・課題整理、地域移行の在り方の方向性の検討、予算確保、対象部活動の選定

### 年間の事業スケジュール

令和7年4月

実証事業の対象となる部活動について、市内中学校のうち、昨年度から実施しているアーチェリー（日生中学校）、剣道（吉永中学校）、陸上競技（備前中）、ソフトテニス（吉永中学校）の実施を決定した。

サッカーについて、地域の4クラブが、合同でサッカーチームの設立をするための協議を令和6年度から行い、今年度、新たに「備前CITY FC（仮）」を設立する予定であったが、地域のクラブとの最終調整において運営方針がまとまらず、設立できなかったため、中心となるクラブとの協議を継続して行っている。

令和7年12月

卓球について、地域指導の候補者と意見交換を行い、今後の活動について検討を始めた。

令和8年1月

バレーボールについて、顧問の先生と一緒に指導に携わってくださる地域の方からの申し出があり、クラブ化できるよう学校との調整を行った。

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		4 クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		4 クラブ（4 部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		0 クラブ
全体の指導者数	5 人	全体の運営スタッフ数	1 人

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	大会参加方法
オレンジクラブ	総合型スポーツクラブ	アーチェリー	・平日 0 回 ・休日 1 回	午前中	1年 2人 2年 7人 3年 5人	4月～3月	2 人	0 人 (内、兼務 0 人)	全て部活動
備前市陸上競技協会	スポーツ連盟	陸上競技	・平日 0 回 ・休日 3 回	午前中	1年 9人 2年 9人 3年 12人	4月～3月	1 人	0 人 (内、兼務 0 人)	全て部活動
	元教員	剣道	・平日 0 回 ・休日 3 回	午前中	1年 7人 2年 0人 3年 4人	4月～3月	1 人	0 人 (内、兼務 0 人)	全て部活動
備前東ソフトテニスクラブ	地域クラブ	ソフトテニス	・平日 0 回 ・休日 3 回	午前中	1年 1人 2年 3人 3年 5人	4月～3月	1 人	1 人 (内、兼務 1 人)	全て地域クラブ

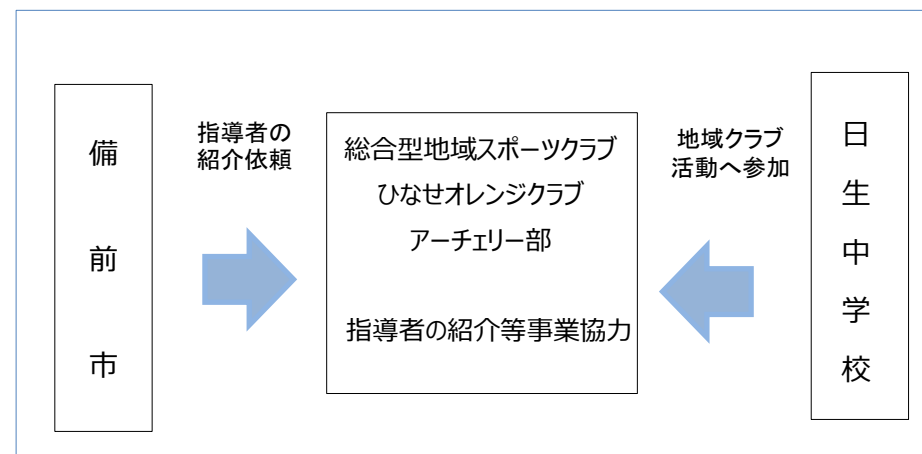
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ● オレンジクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	アーチェリー
運営団体名	オレンジクラブ
期間と日数	月1回程度
指導者の主な属性	競技経験者
活動場所	日生アーチェリー場
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ● 地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 自治体  
役割：指導者への謝礼、生徒及び指導者の保険料を支払う
- 統括責任者  
役割：学校、クラブ、地域指導者との連携を取る
- 指導者 1名  
役割：生徒への指導を行う

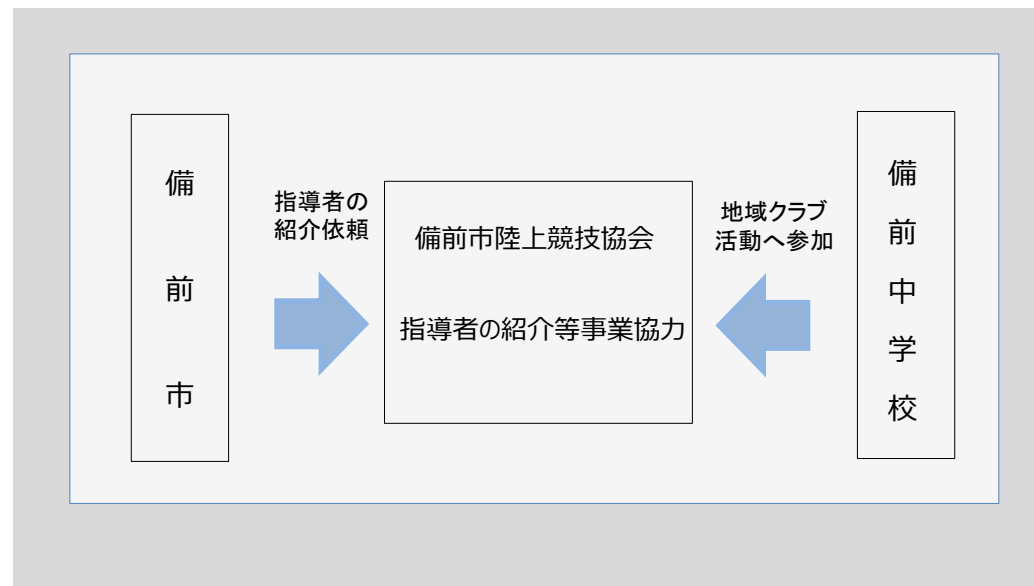
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●備前市陸上競技協会 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	備前市陸上競技協会
期間と日数	月3回程度
指導者の主な属性	競技経験者
活動場所	備前中学校及び備前市陸上競技場
主な移動手段	自転車及び保護者の送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 自治体  
役割：指導者に謝礼を支払う
- 統括責任者  
役割：学校、クラブ、地域指導者との連携を取る
- 指導者 1名  
役割：生徒への指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

- 取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

市スポーツ協会やスポーツ少年団の会議において、当市の地域移行の取組や進捗状況について報告し、現状の把握をしてもらった。  
各学校を訪問し、部活動の現状や課題の聞き取りを行った。

#### 取組の成果

未実施の種目について、地域で指導してもらえる候補者の情報をもらったため、協議を進めることができた。

#### 今後の取組における課題

未実施の種目が多いため、地域で指導者を探すことも限界がある。

#### 課題への対応方針

市外で活動しているクラブなどについても情報を収集し、持続可能な指導者の確保を検討したい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 平日・休日の一貫指導に関する取組

平日は、部活動の外部指導者が指導していることから、中学生の負担にならないよう、指導者や活動内容、活動場所について環境を変えずに行っている。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

地域移行について、未実施の種目の指導者を開拓する必要があるが、課題が多く思うように進まないのが現状である。そこで、市だけでなく地域が一带となって取り組めるよう各関係団体との情報共有を行っている。その中で、卓球について、指導の候補者との協議ができた。また、バレーボールについて、顧問の先生と一緒に指導に携わってくださる方からの申し出により、4月からのクラブ化について学校と調整を行った。

#### ●成果の評価

地域移行の実施には至らなかったが、未実施の種目について指導の候補者との協議を進めることができた。

#### ●今後に向けて

持続可能な活動にするためにも、指導者だけでなく、運営スタッフについても配置を検討していく必要があると考えている。

また、指導者についても地域で探すことに限界があるため、市外で活動しているクラブなどについても情報を収集し、持続可能な指導者の確保を検討したい。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料



【備前市陸上競技場にて①】



【備前市陸上競技場にて②】



【晴れの国駅伝での交流】



【晴れの国駅伝を終えて】

## 2.実証内容と成果④

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

校長、学校現場との調整

令和6年

地域クラブへ指導者の派遣依頼

実施検討  
(サッカー)

令和7年

継続実施(4クラブ) 実施検討  
(サッカー・卓球・バレー)

令和8年

令和13年までに休日部活動の以降に向けて推進

#### 経過・実施内容

令和6年度に続き、4クラブ（剣道、アーチェリー、陸上、ソフトテニス）については、継続して活動を行った。指導者及び生徒について問題なく実施できている。他の種目については、各学校の現状の聞き取りを行ったり、関係団体との情報交換により、地域の指導候補者の選定を行っている。協議を行うなど、クラブ化に向けて検討を行った。市内5校のうち、1校にしかない部活動の種目については、その学校に指導者を派遣し平日の部活動と環境を変えることなく実施できている。

#### 課題

現在活動をしているクラブの活動は順調であるが、運営スタッフがいない、または十分でないため、持続可能な活動にするためにもスタッフについても検討していきたい。

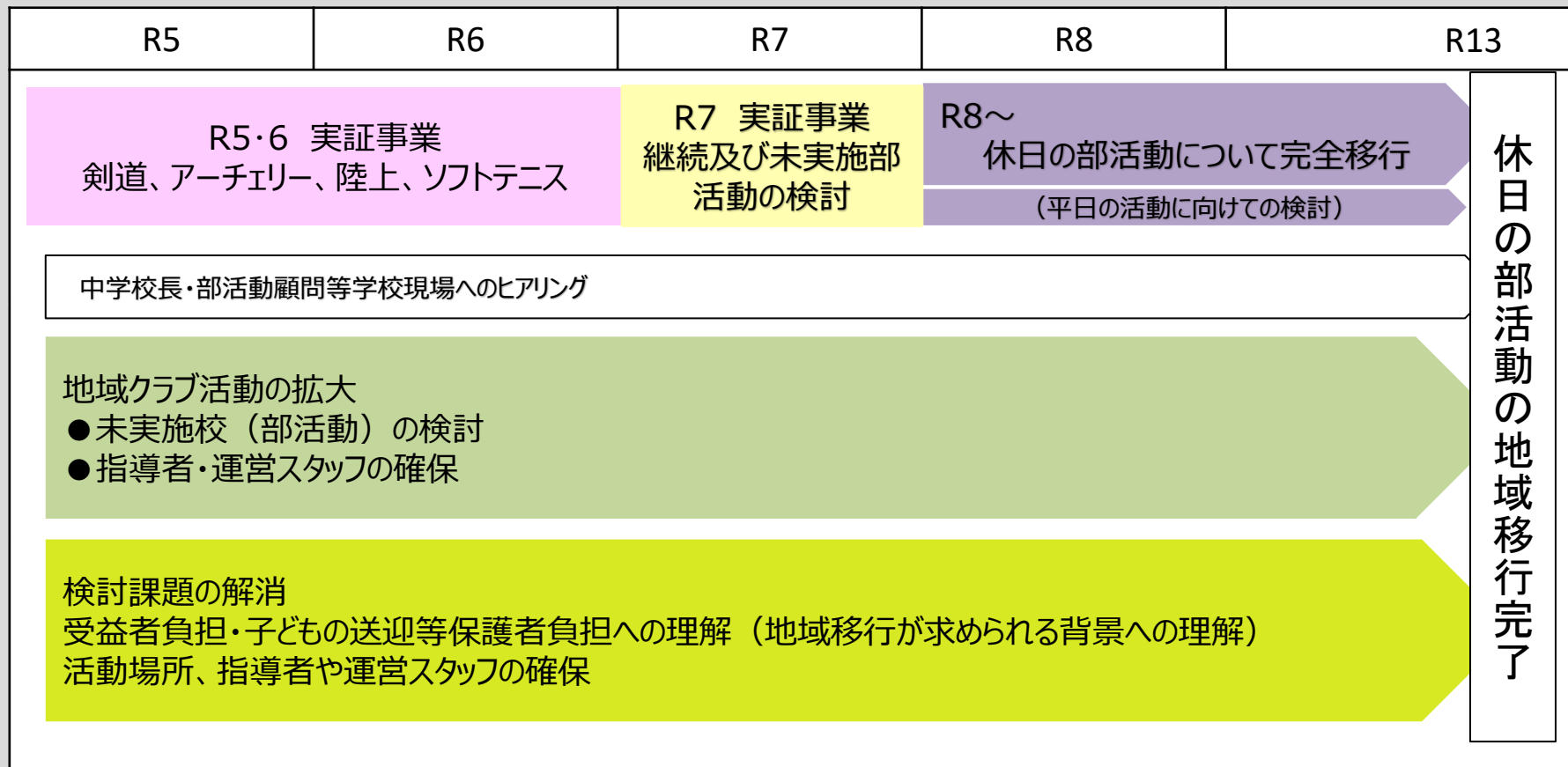
未実施の部活動について、特に複数校に設置されている部活動については、指導者の選定だけでなく、生徒の移動手段や、実施場所等検討課題は多い。生徒数が減少する一方で、部活動が減っているため、地域での受け皿を整備することは急務であるが、保護者へ理解を求める働きかけなどもできていない状況である。

#### 今後の展開

課題を整理し、地域移行を推進していく。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和7年度

## 文化部活動改革（部活動の地域移行に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

# 岡山県 備前市

自治体名：岡山県 備前市

担当課名：文化スポーツ振興課

電話番号：0869-64-1837

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	258 km <sup>2</sup>
人口	30,207 人 (R7.12.31現在)
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	614 人 (R7.5.1現在)
部活動数 (文化部活動のみ)	7 部活
地域クラブ活動数	1 クラブ
市区町村の協議 会・検討会議等 の設置状況	未設置
市区町村の推進計 画・ガイドライン等の 策定状況	未策定

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

備前市では、少子化の進展により、中学校の生徒数が減少し、それに伴い教職員数が減少しており、部活動は廃部や休部、活動の縮小に追い込まれていく傾向にある。生徒にとっては自分のやりたい部活動がなく、あったとしても少ない部員数であることなどにより活動が低調となり、魅力を感じられない状況が既に発生している。このため、生徒の部活動離れを引き起こすという悪循環が生じ、部活動が衰退する傾向にある。

また、教職員の部活動指導に係る負担が増しており、学校における働き方改革が求められていることや、他方で生徒の育成は学校、地域において担われている中で、地域のスポーツ・文化芸術団体や指導者、施設などの資源と学校との連携・協働が十分ではない状況もみられる。

### 【文化部】

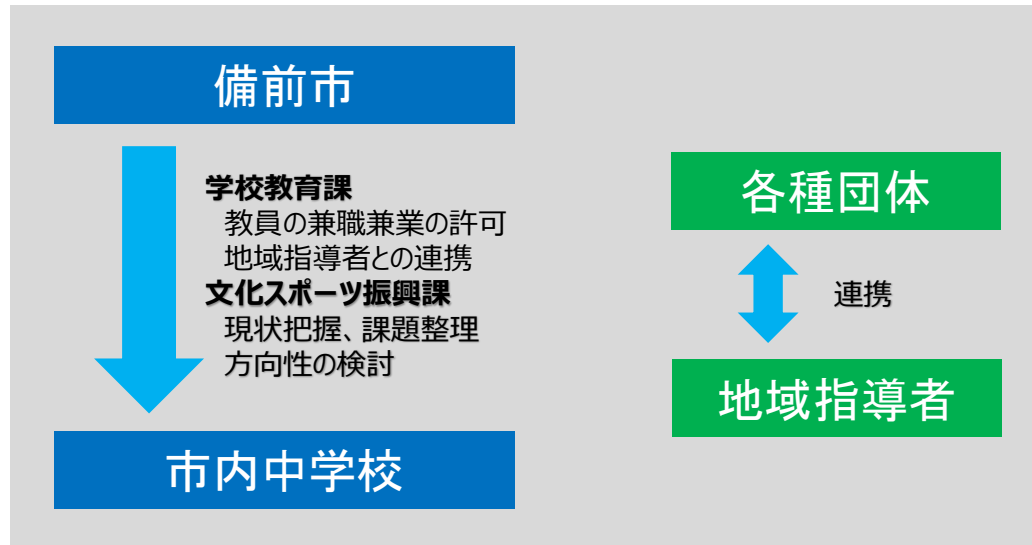
吹奏楽部、美術部、美術ボランティア部

7 部活動

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

###### ●学校教育課

希望する教員の兼職兼業の許可、地域指導者との連携

###### ●文化スポーツ振興課

(R6.7.1の機構改革により首長部局から教育委員会へ組織移管)  
現状把握・課題整理、地域移行の在り方の方向性の検討、予算確保、  
対象部活動の選定

### 年間の事業スケジュール

令和7年4月

実証事業の対象となる部活動について、市内中学校のうち、吹奏楽部（吉永中学校）の実施を昨年度から継続して行うことを決定した。

令和7年11月

第31回備前吹奏楽フェスティバルへ参加

令和8年3月

東備西播定住自立圏中学校吹奏楽部交流助成事業として交流会に参加

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1 クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	1 クラブ（1 部活動）	
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数	0クラブ	
全体の指導者数	1 人	運営スタッフ数	1人

#### ②各地域クラブ活動に関すること

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	大会参加方法
備前プラス バンドクラブ	地域クラブ	吹奏楽	週3回(休日)	午前・午後 のいずれか3 時間	1年 5人 2年 5人 3年 7人	4月～3月	1人	1人 (内、兼務0 人)	備前吹奏 楽フェスティ バル、東備 西播自立 圏中学校 吹奏楽部 交流助成 事業：地 域クラブ

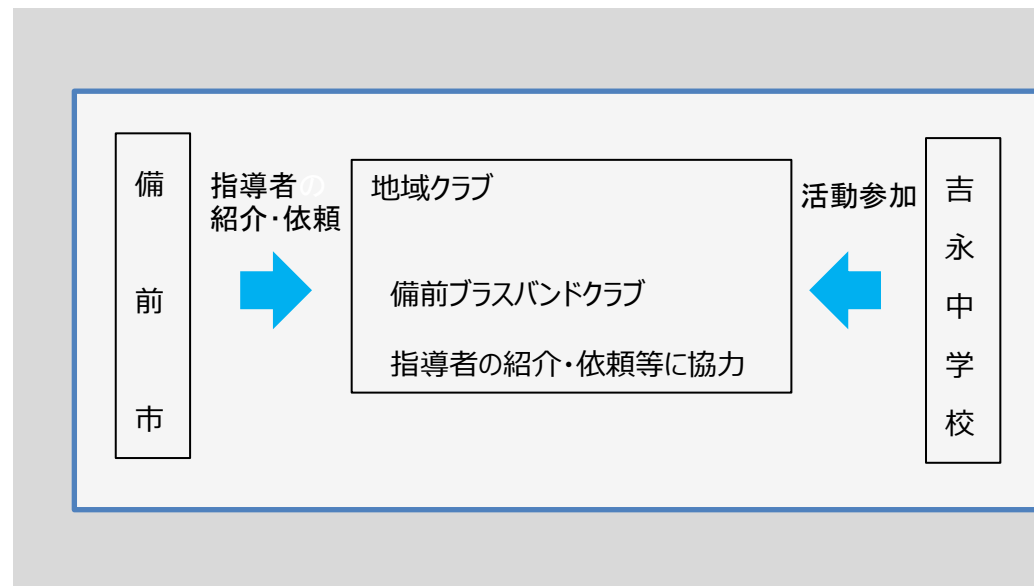
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●備前ブラスバンドクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽
運営団体名	備前ブラスバンドクラブ
期間と日数	吹奏楽：月3回程度
指導者の主な属性	経験者
活動場所	吉永中学校
主な移動手段	自転車
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,200円/年

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 自治体  
役割：指導者への謝礼、生徒及び指導者の保険料を支払う
- 統括責任者  
役割：学校、クラブ、地域指導者との連携を取る
- 指導者 1名  
役割：生徒への指導、演奏の指揮を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

吹奏楽部について、地域の音楽クラブである「備前ブラスバンドクラブ」と連携・調整し、令和6年度から取り組んでいる吉永中学校において活動を継続した。

##### 今後の取組における課題

市内にある公立学校5校全てに部活があるが、地域移行を実施している中学校は1校のみである。未実施の学校についても、地域移行を実施する必要があるが、一カ所に集約することは、練習場所の選定、楽器の保管や運搬、生徒の移動手段などかなりの課題があると考えている。

##### 取組の成果

令和6年度は、月2回程度の練習時間だったが、今年度については、概ね月3回の練習時間の確保ができた。

##### 課題への対応方針

未実施の学校について、学校単位の枠組みではなく市内全域での活動となるよう拠点校方式や合同チームなど先進地事例を参考に方向性を決めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

##### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

文化芸術団体等への相談・連携

美術部の地域移行への取組として、専門的な技術を持つ外部指導者を選定するため、退職教員や地域で公民館活動等を行う団体等について調査を行ったが、マッチングには至らなかった。

##### 今後の取組における課題

生徒のニーズに合わせ、従来の美術分野だけでなく、デジタル分野の知識等も持っている指導者が必要である。

##### 課題への対応方針

引き続き、退職教員や芸術家、美大生などの情報を入手していくが、地域の指導者が確保できなかった場合は、公的な人材バンクや専門学校から指導者を派遣してもらう仕組みづくりも検討したい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

美術部の地域移行への取組として、専門的な技術を持つ外部指導者を選定するため、美術教員経験者や地域で公民館活動等を行う団体等について調査を行ったが、マッチングには至らなかった。

##### 今後の取組における課題

生徒のニーズに合わせ、従来の美術分野だけでなく、デジタル分野の知識等も必要である。

##### 課題への対応方針

引き続き、退職教員や芸術家、美大生などの情報を入手していくが、地域の指導者が確保できなかった場合は、公的な人材バンクや専門学校から指導者を派遣してもらった仕組みづくりも検討したい。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

昨年度から実施できている吹奏楽については、運営スタッフの協力も得て、問題なく活動ができたが、他のクラブについての進展はなかった。

#### ●成果の評価

クラブ化の進展がなかったため、改善できた点はない。ただ、課題が多い中でも部活動の種目別には、少しずつではあるが、取り組んでいる。

---

#### ●今後に向けて

地域移行の進捗状況について、地域に情報を開示し、地域で取り組む問題と捉えてもらう必要があると感じている。また、地域移行の必要性について、生徒及び保護者へ理解してもらうための手段や方法を考えていきたい。

## 2.実証内容と成果③

### 参考資料

# 第31回備前吹奏楽フェスティバル

2025/11/16(日) 13:30~ 備前市市民センターホール

## 参加者募集!

管楽器(木管、金管)、パーカッションを部活、個人で楽しんでいる方、一緒にステージを作りましょう! ダンスで参加もOKだよ!

### < 目的 >

日頃の練習の成果を備前市市民センターホールで発表しましょう。  
吹奏楽に取り組んでいる団体が共に演奏を通して交流しましょう。  
中学校部活地域移行の成果発表の場として。  
社会へ開かれた吹奏楽活動の場として。

### < 参加規定 >

(団体のみなさん)  
参加人数制限なし アンサンブルも可  
準備片付け含み1団体20分以内  
メンバーの移動・楽器の準備、運搬、貴重品の管理は各自でお願い致します。  
控室は、準備いたします。

(個人のかた)  
私たち(備前ブラスバンドクラブ)と一緒に合奏しましょう!  
合同演奏曲目 2~3曲予定 ロマネスク 倍倍FIGHT! ダンス参加OK 他

控室はございませんので、客席でご準備、ステージへ上がって頂きます。  
個人、団体ともに参加費は頂きません。  
申し込み締め切り **2025年 9月15日**

お申し込みはこちら  
QRコードから受付ができます。  
(団体参加) (個人参加)



後援 備前市 備前市教育委員会  
お問い合わせ  
okayama.bizen.brassband.club@gmail.com

備前吹奏楽フェスティバル実行委員会  
備前ブラスバンドクラブ 代表 小嶋雅彦



当日飛び入り参加も  
大歓迎!!

【第31階備前吹奏楽フェスティバルチラシ】

## 2.実証内容と成果④

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

校長、学校現場との調整

令和6年

地域クラブへ指導者の派遣依頼

地域移行の実施、中止（吹奏楽）

令和7年

実施の再検討（吹奏楽）

継続実施（吹奏楽）  
実施検討（美術）

令和8年

令和13年 休日部活動の以降に向けて推進

#### 経過・実施内容

吹奏楽部について、令和5年度では、伊里中学校、日生中学校、吉永中学校の3校が合同で地域移行を実施し、東備西播定住自立圏中学校吹奏楽部交流助成事業交流演奏会での発表を目標に活動を行った。各学校での練習や合同練習を実施し、演奏会では合同で発表を行ったが、演奏会後には、地域移行の活動を中止し、各学校での活動を行った。

令和6年度について、実施に向けた再検討を行っていた7月頃に吉永中学校から申し出があり、実施に向けた調整を開始、9月から吉永中学校吹奏楽部で地域移行を実施することになった。活動については、月2回の練習と備前市吹奏楽フェスティバル、東備西播定住自立圏中学校吹奏楽部交流助成事業交流演奏会へ参加し、令和7年度も継続して活動することができている。また、地域移行ができていない4校の吹奏楽部や美術部について検討を行った。

#### 課題

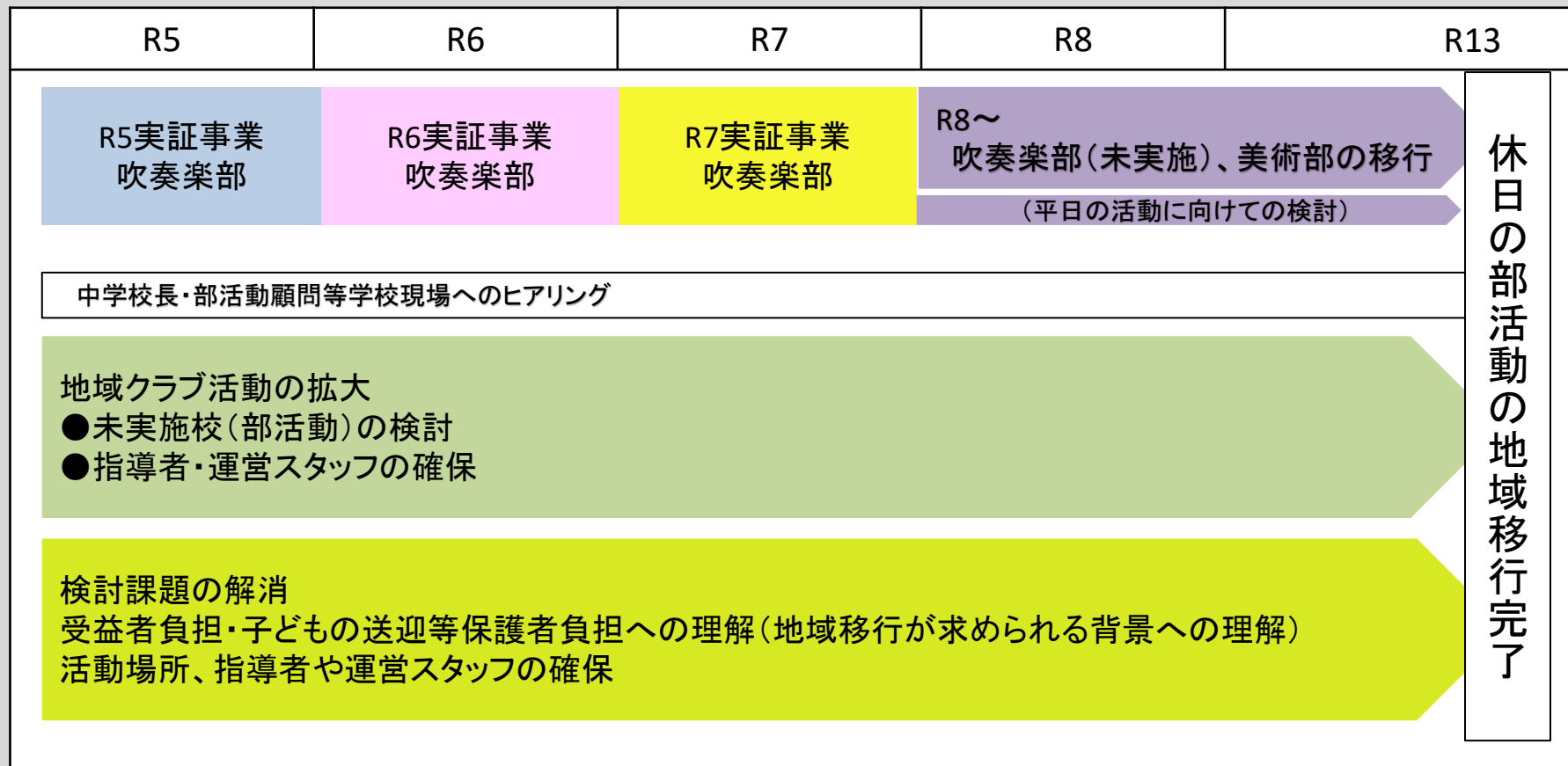
現在実施している吹奏楽（吉永中学校）については、学校施設（体育館）を利用しているが、鍵の管理等は指導者が行っている。教員の立ち合いが必要ないため、教員の負担なく実施出来ている。吉永中学校以外の4校については、部活動として活動を続けているため、市として目指す方向性について検討が必要。

#### 今後の展開

令和13年度までに全ての種目で、休日の部活動について地域移行を実施するといった方針の変更に伴い、時間的に余裕ができたが、令和13年度を見据えたスケジュールを立て、着実に進め、地域移行を推進していく。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 岡山県美作市

自治体名：美作市

担当課名：美作市教育委員会学校教育課

電話番号：0868-72-1162

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	429.2 km <sup>2</sup>
人口	24,882 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	518 人
部活動数 (運動部活動のみ)	18 部活
地域クラブ活動数	2 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

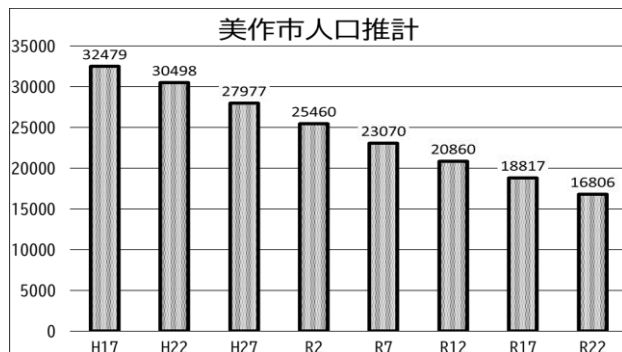
## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

市内各地域のスポーツ活動は、人口減少・少子化の影響による参加者の減少に伴い統廃合や廃止されたものが多くある。

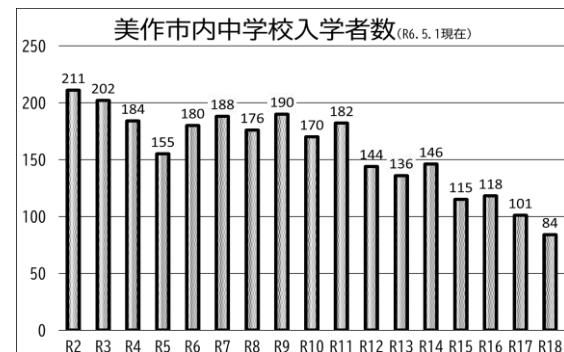
また、子どもたちの健やかな成長に大きな役割を果たしてきた学校部活動であるが、生徒数の減少等によるやむを得ない廃部や、単独で試合に出られない学校が大幅に増えるなど、今後子どもたちの活動の選択肢がさらに少なくなることが危惧される状況である。

令和5年度より美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会を立ち上げ、子どもの多様な体験の機会を確保するとともに、持続可能な運営を図るための体制整備について、学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体など、様々な立場からの意見を集約し、美作市にとってふさわしい地域連携・地域移行の在り方を検討している。

- 【課題】
- (1) 運営主体における役割分担と協力体制の構築
  - (2) 人材確保のための教育委員会、スポーツ協会等の団体、地域との連携
  - (3) 実施主体の構築
  - (4) 会費徴収に関する保護者・学校等の理解
  - (5) 高校や市内スポーツ団体との連携



(出典：住民基本台帳、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)

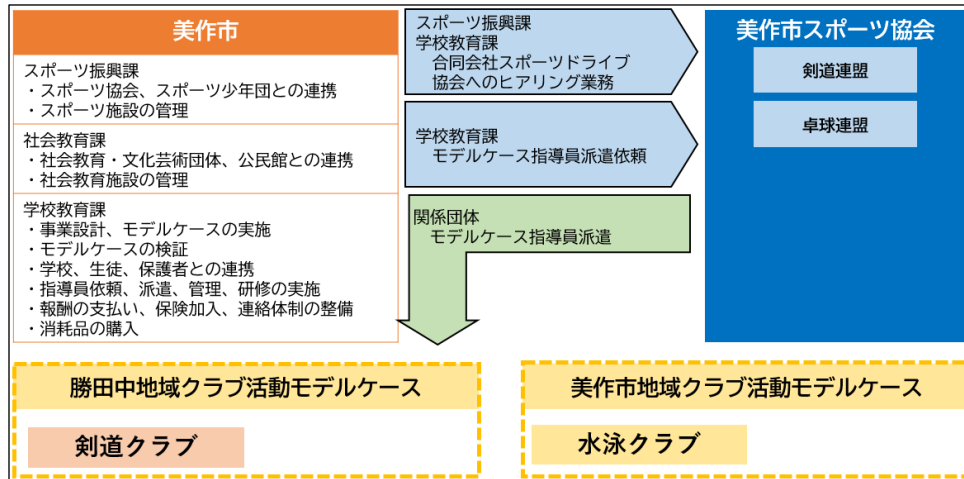


(出典：美作市住民基本台帳より)

# 2.実証内容と成果

## 運営体制

### ●市区町村における推進体制図



### ●行政組織内での役割分担

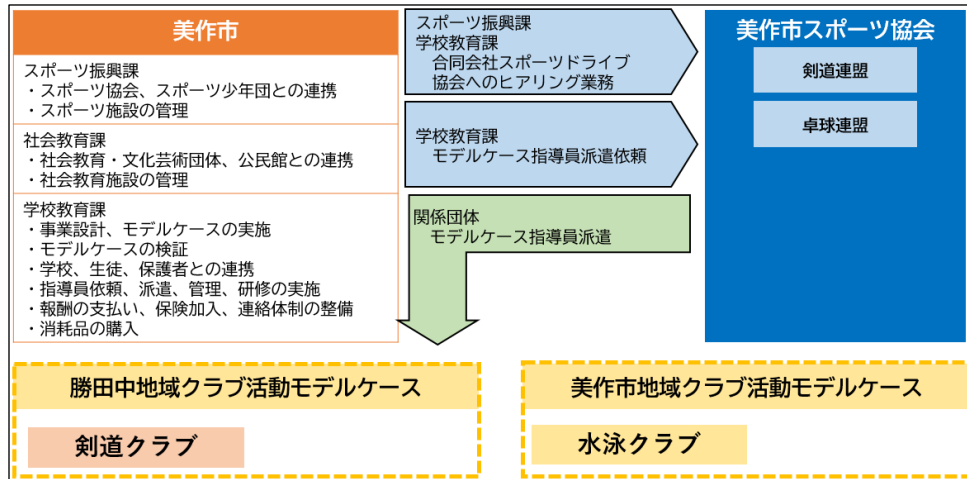
- ◎**教育委員会（学校教育課・スポーツ振興課・社会教育課）**
  - ・総括事務局、制度設計、提案・調整・連絡、相談窓口
- ◎**教育委員会（学校教育課）**
  - ・協議会総括 ・兼職兼業等 ・実施主体のマッチング
- ◎**教育委員会（スポーツ振興課）**
  - ・市スポーツ協会、市内スポーツ団体等との連絡調整 ・指導者、サポーターの募集
- ◎**教育委員会（社会教育課）**
  - ・市文化連盟、市内文化団体等との連絡調整 ・指導者、サポーターの募集
- ◎**教育委員会（教育総務課）**
  - ・学校施設利用・整備・備品

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員、生徒、保護者への説明資料作成</li> <li>・勝田中モデルケース実施校の教員への説明周知</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝田中モデルケース実施校の保護者への説明周知</li> <li>・モデルケース指導員の説明、募集</li> <li>・第1回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリング業務委託業者の選定</li> <li>・ヒアリング業務委託業者への見積依頼</li> <li>・勝田中モデルケース指導員のマッチング</li> <li>・全校対象モデルケース水泳指導員の募集、説明</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会</li> <li>・ヒアリング業務委託業者の決定</li> <li>・関係団体へのヒアリング（～R8.2.10）</li> <li>・全校対象モデルケース水泳の周知、参加者募集</li> <li>・勝田中モデルケース指導員のマッチング</li> <li>・全校対象モデルケース水泳指導員へのマッチング、依頼及び承諾書提出</li> <li>・全校対象モデルケース水泳指導員へのコンプライアンス意識を高める研修</li> <li>・勝田中モデルケース実施校の保護者への説明周知、参加希望調査(31)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルケース水泳指導者・参加生徒保険加入</li> <li>・モデルケース水泳実施(8/5, 6, 19, 21, 22)</li> <li>・モデルケース水泳実施状況視察(8/5, 6, 21)</li> <li>・勝田中モデルケース実施校の生徒への説明周知、参加希望調査(6)</li> <li>・勝田中モデルケース参加生徒の取りまとめ、指導員への情報提供</li> <li>・勝田中モデルケース指導員へのコンプライアンス意識を高める研修</li> </ul>

# 2.実証内容と成果

## 運営体制

### ●市区町村における推進体制図



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会（学校教育課・スポーツ振興課・社会教育課）

・総括事務局、制度設計、提案・調整・連絡、相談窓口

#### ◎教育委員会（学校教育課）

・協議会総括 ・兼職兼業等 ・実施主体のマッチング

#### ◎教育委員会（スポーツ振興課）

・市スポーツ協会、市内スポーツ団体等との連絡調整 ・指導者、サポーターの募集

#### ◎教育委員会（社会教育課）

・市文化連盟、市内文化団体等との連絡調整 ・指導者、サポーターの募集

#### ◎教育委員会（教育総務課）

・学校施設利用・整備・備品

9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝田中モデルケース指導員への依頼及び承諾書の提出</li> <li>勝田中モデルケース開始（～R8. 2. 10）</li> <li>勝田中モデルケース実施状況視察</li> <li>第2回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝田中モデルケース実施状況視察</li> <li>モデルケース実施状況の把握、成果と課題の整理</li> <li>令和8年度予算積算</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデルケースにおける成果と課題の整理</li> <li>全面実施に向けた課題の洗い出し</li> <li>課題解決に向けた方策の検討</li> <li>令和8年度予算要求</li> <li>第3回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会</li> <li>第3回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度モデルケースの検討</li> <li>令和8年度事業計画策定</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度モデルケース指導者のマッチング</li> <li>令和7年度事業完了報告</li> <li>令和8年度モデルケース実施計画の作成</li> </ul>

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		2 クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（1 部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		1 クラブ
全体の指導者数	3 人	全体の運営スタッフ数	1 人

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
美作市水泳クラブ	美作市教育委員会	水泳	平日 5 回	10:00 ~11:45	3年:1人 2年:2人 1年:3人	R7.8.5~ R7.8.22	2 人	1人 (兼務なし)	無料	なし
勝田中剣道クラブ	美作市教育委員会	剣道	平日 1 回 休日 1 回	16:00 ~17:00 9:30 ~11:30	2年:4人 1年:1人	R7.9.1~ R8.2.10	1 人	1人 (兼務なし)	無料	中体連： 部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

・実施なし

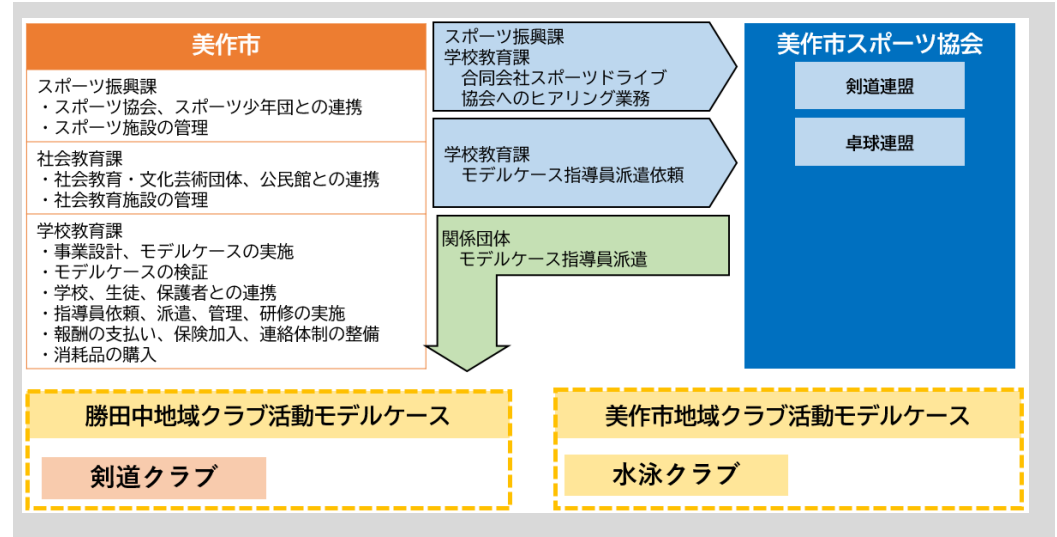
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●美作市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	水泳、剣道
運営団体名	美作市教育委員会学校教育課
期間と日数	水泳：8/5～8/22：5回程度 剣道：9/1～2/10 毎週金、土曜日：月8回程度
指導者の主な属性	スポ少指導者、元教員
活動場所	作東B&G海洋センター 美作市立勝田中学校
主な移動手段	保護者送迎、徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	無料
1人あたりの保険料	水泳：傷害保険 ・指導者・生徒1日1人あたり：24円 剣道：スポーツ安全保険 ・生徒1人あたり：800円/年 ・指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 自治体、統括責任者  
役割：活動場所の確保  
教員、生徒、保護者への説明・周知  
モデルケース指導員の説明、募集、マッチング、事務手続  
全校対象モデルケース水泳指導員へのコンプライアンス意識を高める研修  
参加生徒リスト作成・傷害保険加入手続
- 主任指導者 2名  
役割：活動計画の作成、参加者への周知  
指導及び安全管理

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

美作市クラブ活動のガバナンス組織として、一般社団法人美作市スポーツ文化協会を設置するため、美作市スポーツ協会に協力を仰ぎ、関係団体対してヒアリングを行うとともに、部活動地域展開について理解を求めるとの研修会を開催した。

ガバナンス組織を設置するに当たり、どのような体制が美作市にふさわしいかについて、専門家の助言と関係団体のヒアリングの結果をもとに協議会において検討する。

総括コーディネーターやコーディネーターの人選及び配置

##### 取組の成果

美作市スポーツ協会とその関係団体対してヒアリングと、部活動地域展開についての研修会を開催し、半数以上の関係者から部活動地域展開の取組を推進していくことに理解を示していただき、関係者の理解が深まった。

美作市スポーツ協会との協議の結果、運営主体の在り方について、継続して検討を進めることとなった。

総括コーディネーターやコーディネーターの人選及び配置は市内の地域人材に適任者がおらず、配置に至らなかった。

##### 今後の取組における課題

地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置付けるか、継続して検討が必要である。

美作市スポーツ協会とその関係団体へのヒアリングや部活動地域展開についての研修会を開催し、関係者の理解は深まったが、美作市として地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置づけていくかについて、さらに議論を深め、その在り方について検討を継続する必要がある。

総括コーディネーターやコーディネーターの人選及び配置

##### 課題への対応方針

他市の取組の情報収集や、地域クラブ活動に見識のある有識者を招聘し、助言を受け、地域クラブ活動の運営主体と実施主体の在り方を検討していく。美作市スポーツ協会等の関係団体の協力を得ながら、総括コーディネーターやコーディネーターの人選を進める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

コーディネーターを配置できていない。

##### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

今年度、運営団体・実施主体を美作市教育委員会学校教育課が担った。安全性を確保するため、市教委担当者から指導者に対して緊急時の対応に確認を行った。

「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」に準拠した運営体制の研究。

法令等に基づく事業運営ため、実施要項を策定した。

公正かつ適切な会計処理のために、部局会計課から指導助言を受け、会計処理を実施した。

##### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

地域クラブへの登録にフォームを活用し、デジタル化を図った。

##### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含め管理責任の主体は運営及び実施主体である美作市教育委員会である。

事故等が発生時のマニュアルを指導者と共有した。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

指導者の量の確保については、市スポーツ協会の協力を得て指導者リストを作成した。

指導者に対して、どのような条件のもと指導者として参画できるか、アンケート調査を行った。

美作市地域クラブ活動モデルケースで実施する種目の指導者に協力を依頼し、実施する曜日・時間・場所等の調整を行った。

指導者の量の確保に重点を置いたため、今年度は指導者の質を高める取組は実施できなかった。

##### 取組の成果

地域クラブ活動に参加した中学生19人を対象としたアンケートの結果、回答者の全員から肯定的な回答が得られ、参加者にとって満足感が得られる活動となった。

モデルケースを実施した学校では、クラブ活動が新設されたことによって、同種目の部活動の日数を6～3割程度削減し、教員の時間外勤務が平均30分削減し、教員の働き方改革に資するものとなった。

部活動にない種目をクラブ活動として実施しようとしたが、参加希望者が無いため実施できなかった。

##### 今後の取組における課題

平日・休日ともに指導者の確保が不十分である。

指導者の質を一定に保ちながら、量を確保することが課題である。

競技指導の専門性を高める研修会の実施は、単市の取組としては困難である。

##### 課題への対応方針

市スポーツ協会の協力を得て、平日・休日の参画の可否や参画可能な時間帯を追記した指導者・サポーターリストを作成する。

県主催の研修会への参加を奨励する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

### イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

指導者の量の確保については、市スポーツ協会の協力を得て指導者リストを作成した。

指導者に対して、どのような条件のもと指導者として参画できるか、アンケート調査を行った。

##### 指導者研修受講者の声

###### 参加者①

指導者自身の健康が第一であると感じた。ゆとりをもって生徒と接することも大切である。学校との情報共有も大切であるが、先生方が多忙にしているため、時間を確保することが難しい。指導者から声掛けをするなど、工夫が必要だと感じている。

##### 指導者研修の内容

研修名	スポーツ指導におけるコンプライアンス研修
講師	美作市教育委員会学校教育課職員
研修内容	生徒と指導者が適切な距離を保つことができるように各学校の校内ルールを確認する。 生徒と指導者という関係性を越えたり、個人的な感情によって特定の生徒を特別扱いしたりしないこと。 校内ルールを遵守して行動することは、生徒を守ると同時に、指導者自身を守ることにもつながること。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

### イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 指導者の資格取得促進に向けた取組

指導者の資格取得促進に向けた取組は実施していない。

指導者総数	1人
資格所持指導者数	1人
本年度資格を取得した指導者	0人

##### 平日・休日の一貫指導に関する取組

活動記録簿による情報共有

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

美作市の学校教育課、スポーツ振興課、社会教育課の3課の協働により、関係団体との連携強化が進んだ。

美作市クラブ活動の運営主体・実施主体の在り方について、美作市スポーツ協会に協力を仰ぎ、関係団体に対してヒアリングを行うとともに、部活動地域展開について理解を求めめるための研修会を開催した。（再掲）

さらなる連携強化に向けて、学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体などで組織する「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」において課題等の協議を通して、部活動地域展開に対する理解を深め、連携強化に取り組んだ。

##### 取組の成果

美作市スポーツ協会との協議の結果、運営主体の在り方について、継続して検討を進めることとなった。

美作市スポーツ協会の関係団体に対してヒアリングを行うとともに、部活動地域展開について理解を求めめるための研修会を開催したことで、関係者の理解が深まった。

学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体などで組織する「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」において課題等の協議を通して、部活動地域展開に対する理解を深め、連携強化を図ることができた。

##### 今後の取組における課題

美作市地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置付けるか、継続的な検討が必要である。

「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」における議論の活性化が必要である。

##### 課題への対応方針

部局と教育委員会が意思疎通を図りながら、美作市スポーツ協会及び関係団体と合意形成を図り、美作市地域クラブ活動の運営主体と実施主体の在り方を検討していく。

「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」における議論を活性化させるため、協議会の持ち方や運営方法を工夫する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

教員・生徒・保護者への周知活動として、教員対象の説明会、学校での生徒及び保護者への説明会を開催して周知を行った。

市民への周知活動として、ケーブルテレビを活用した周知を行った。

隣接している西粟倉村と本市の大原地区と西粟倉村との連携した広域連携型のクラブ活動の実施について提案があり、定期的に西粟倉村との情報交換会を行った。

##### 取組の成果

市のケーブルテレビに協力により周知用番組を作成し、ケーブルテレビで放映した。

隣接している西粟倉村からの本市の大原地区と西粟倉村との連携した広域連携型のクラブ活動の提案によって、中山間地域の生徒のクラブ活動の受け皿が確保できる可能性が広がった。

##### 今後の取組における課題

クラブ活動の募集段階で、参加を悩む生徒、参加した生徒からの声を聞いて参加を希望した生徒がいたことから、生徒に募集を周知する際、活動内容が伝わる広報活動が必要である。

市内の体制整備と並行して、隣接町村との連絡調整を行いながら連携を継続していく必要がある。

##### 課題への対応方針

三県境（岡山県、兵庫県、鳥取県）広域連携型クラブ活動におけるサッカークラブの設置に向けて、佐用町、智頭町、美作市大原地区、西粟倉村4地域で設立に向けた協議を進める。

「いつでも参加でき、いつでもやめられる」「複数種目・掛け持ち可能」といった、従来の部活動の「必須」「強制」「縛り」のイメージを払拭する柔軟性を前面に出したPRが不可欠である。

子ども、指導者、保護者すべてに対し、従来の部活動的な先入観を取り除く必要がある。

紙媒体だけでなく、SNSや学校タブレット、みまちゃんネルなど、視覚的に雰囲気伝わる媒体を活用する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 市区町村等を越えた取組

西粟倉村との定期的な情報共有（3回実施）

三県境（岡山県、兵庫県、鳥取県）広域連携型クラブ活動におけるサッカークラブの設立について、西粟倉村から提案があった。

隣接する佐用町、智頭町、美作市大原地区、西粟倉村4地域を対象にした地域クラブ活動である。

西粟倉村の担当者がコーディネーターの役割を担い、隣接市町村との連絡調整を行っている。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の確保と内容の充実のため、教職員及び児童・生徒にアンケート調査を実施した。  
スポーツ活動と文化活動の両方に参加できる地域スポーツクラブ活動として、水泳、剣道、柔道、卓球、野球、芸術のクラブ活動をモデルとして計画した。  
複数の活動に参画できる機会を提供することで多様な活動機会を提供する。

##### 取組の成果

生徒の希望と指導者の確保の関係から実施種目は、水泳、剣道であった。  
教職員へのアンケート結果は次のとおりである。

教員の負担軽減  
「顧問の負担が軽減されること」への期待が最も多く、「休日の部 活動指導からの解放」「残業時間の削減」といった声が上がった。

生徒の選択肢拡大  
「指導できる専門家が増える」「多様な種目から選べるようになる」など、生徒がより専門的な指導を受けられることや、活動の選択肢が広がることに期待が寄せられている。

指導の質の向上  
地域人材や外部指導者の活用により、「専門性の高い指導が受けられる」「指導の均質化が図られる」といった効果も期待されている。

##### 今後の取組における課題

生徒の安全管理  
行き帰り、活動中の怪我を懸念。「事故時の責任の所在」の課題  
・地域人材の確保と質  
「指導者の確保が困難」「指導者の質のばらつき」といった、活動を担う人材に関する懸念  
・運営体制  
「運営費の捻出方法」「参加費の負担」「施設や用具の確保」などの運営体制に関する不安が顕著であった。  
・教員と地域クラブの連携  
「生徒の情報共有が難しくなる」「顧問としての役割が曖昧になる」など、教員と地域クラブ間の連携や役割分担の課題

##### 課題への対応方針

教職員アンケート結果の課題を協議会等の場で対応策を検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

- ・受益者負担の原則に基づく適切な参加費徴収
- ・地域クラブ活動の持続可能な運営に資する自主財源の確保に向け、運営資金の確保手段、公的資金と受益者負担の枠組みの検討
- ・経済的困窮世帯への支援の枠組みの検討  
市内の部活動とクラブ活動が併設されるため、地域格差を生まないよう令和7年度は参加費を徴収しない。  
経済的困窮世帯への支援の枠組みについては、生活保護世帯または就学援助費受給世帯については減免とする方向で研究していく。

##### 取組の成果

取組を実施できなかった。

##### 今後の取組における課題

取組を実施できなかった。

##### 課題への対応方針

近隣他市の取組を参考として、参加費負担の在り方を検討していく。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組

## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

#### 収支バランス

- ・受益者負担の原則に基づく適切な参加費徴収
- ・地域クラブ活動の持続可能な運営に資する自主財源の確保に向け、運営資金の確保手段、公的資金と受益者負担の枠組みの検討
- ・経済的困窮世帯への支援の枠組みの検討
  - 市内の部活動とクラブ活動が併設されるため、地域格差を生まないよう令和7年度は参加費を徴収しない方向性である。
  - 経済的困窮世帯への支援の枠組みについては、生活保護世帯または就学援助費受給世帯については減免とする方向で研究していく。

### ●収入

項目	費用	割合
公費	XXXXX	XX%
事務局運営費	XXXXX	XX%
合計	XXXXX	—

### ●支出

項目	費用	割合
地域クラブ活動費	XXXXX	XX%
諸謝金(指導者)	XXXXX	XX%
会場使用料	0	XX%
消耗品費	XXXXX	—
印刷製本費	0	—
携帯電話	0	—
レンタル料	—	—
雑役務	XXXXX	—
生徒保険料	XXXXX	—
指導者保険料	XXXXX	—
事務局運営費	XXXXX	XX%
謝金	00000	—
会場使用料	0	—
スポーツ教室開催費	0	—
保険料	0	—
人件費	0	—
交通費	0	—
印刷製本費	0	—
消耗品費	0	—
備品購入	0	—
通信運搬費	0	—
修繕料	0	—
振込手数料	0	—
一般管理費	0	—
消費税相当額	0	—
合計	XXXXX	—

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

学校の施設・設備・備品等を使用して地域クラブ活動を実施する際の利用ルールを策定する。

地域クラブ活動のために学校施設を使用する場合の優先利用や使用料減免等の仕組みを検討する。

##### 取組の成果

学校施設の一般開放の際のルールを準用した。  
利用団体の競合がなかったため、検討していない。

##### 今後の取組における課題

複数の活動で施設利用が重複した場合、利用調整をどのようにしていくか。

##### 課題への対応方針

運営主体が利用調整等を行っていけるよう体制を整備していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

学校施設の一般開放の際のルールを準用した。  
キーボックスによる鍵の返却

##### 用具使用・管理等における取組

用具等の保管スペースの確保

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

活動場所までの生徒の輸送手段の検討

拠点型やALL型の活動では、生徒の移動距離が10kmを超えることが想定される。生徒の輸送手段について保護者送迎以外に有効な手段がないか研究する。

##### 取組の成果

スクールバスの活用等を検討したが、必要経費が多額のため、保護者送迎に頼らざるを得ない状況である。

##### 今後の取組における課題

生徒輸送に係る経費の補助の在り方をどのようにしていくか。

##### 課題への対応方針

スクールバスによる対応は財政面で困難なため、公共交通機関を活用した生徒輸送に対して補助を行うか検討していく。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

地域スポーツクラブ活動を2種目であるが、実施できたことは、運営主体や実施主体の在り方、国の方針との整合性、クラブ活動の運営に係る具体的な事務処理内容の把握など、取組によって見えてくる課題が発見できたことが最大の成果である。

美作市教育委員会学校教育課を中心とした取組から、市の機構改革もあり、スポーツ振興課、社会教育課との連携が強固となり、3課の協働による実施体制が構築できたことも大きな成果である。

美作市スポーツ協会と関係団体対して、研修会を開催し、地域クラブ活動の取組に理解を示していただき、関係者の理解が深まった。

部活動地域展開の知見を持つ県の部活動地域移行アドバイザーを招聘し、研修会や協議会で他市町村の動向や先進事例の情報を示していただくことで、関係者の理解が深まった。

西粟倉村からの本市の大原地区と西粟倉村との連携した広域連携型のクラブ活動の提案があり、中山間地域の生徒のクラブ活動の受け皿が確保できる可能性が広がった。

#### ●成果の評価

##### 達成目標

- (1) 1 中学校区にモデルケースによる地域クラブを設置  
→2クラブを設置、1クラブが中学校区に閉じた活動となったため、市内全体を対象とした体験会を計画することが必要である。
- (2) 市内における受け皿作りのための協議会の設置及び継続的な協議の実施  
→協議会を3回実施。関係団体の研修会を1回実施。
- (3) クラブ活動の中学生参加数を令和6年度比120%増  
→参加生徒数は、前年比と同様の数値となった。取組の周知を図り、参加者を増やしていく。
- (4) 地域クラブ指導者を確保するとともに、平日及び休日の安定的な指導体制を確立  
→指導者の確保は1割に満たない状況である。スポーツ協会の協力を得ながら、指導者・サポーターとなる人材のリスト化に取り組む。

#### ●今後に向けて

他市の取組を情報収集し、美作市の実情に合った取組を検討していく。次に示す内容を重点事項として、検討を進める。

- ・ 市内全域を対象とした地域スポーツクラブ体験会を実施する。  
(剣道、ソフトテニス、水泳)
- ・ 美作市として地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置づけていくかについて、さらに議論を深め、その在り方について検討していく。
- ・ 認定地域クラブ活動を実施していくための制度設計について研究し、美作市の実情に即した制度を策定していく。
- ・ 生徒輸送については、公共交通機関の利用も含め検討していく。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料



【美作市地域クラブ活動（水泳）：アイスブレイク】



【美作市地域クラブ活動（水泳）泳法指導】



【勝田中学校地域クラブ活動（剣道）指導場面】



【勝田中学校地域クラブ活動（剣道）指導場面】

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

協議会設置、  
検討開始

- ステークホルダー
  - ・学校教育課
  - ・スポーツ振興課
  - ・社会教育課
  - ・協議会委員
- 経過
  - ・協議会委員の選定
  - ・準備会の実施
  - ・教員、生徒アンケート
  - ・関係団体へのヒアリング
  - ・協議会開催
- 実施にあたって生じた課題
  - ・関係団体の協力体制の構築
  - ・市教委内の取組の役割分担
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・協議会委員の選定
  - ・準備会の実施
  - ・教員、生徒アンケート
  - ・関係団体へのヒアリング

令和6年

受け皿団体や  
指導者の選定

- ステークホルダー
  - ・市スポーツ協会
  - ・スポーツ少年団
  - ・協会所属の競技団体
  - ・校長会、教職員
- 経過
  - ・協議会委員の選定
  - ・準備会の実施
  - ・協議会（年3回）
  - ・校長会への説明
- 実施にあたって生じた課題
  - ・関係団体の協力体制の構築
  - ・受け皿団体の不足
  - ・市教委内の取組の役割分担
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・協議会で活発な意見がでるよう、グループでの協議を行う。
  - ・市関係課の準備会

令和7年

学校現場との  
調整

- ステークホルダー
  - ・市スポーツ協会
  - ・生徒
  - ・保護者
  - ・クラブ活動指導者
- 経過
  - ・運営主体、実施主体の検討
  - ・市スポーツ協会への説明
  - ・市スポ協会会員の研修会
  - ・クラブ活動モデルケースの指導者への依頼
- 実施にあたって生じた課題
  - ・受け皿団体の不足
  - ・関係団体の協力体制の構築
  - ・市教委内の取組の役割分担
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・モデルケースの実施により先行事例を作り、横展開していく。

生徒、保護者へ  
の説明

- ステークホルダー
  - クラブ活動指導者
  - 関係競技団体
  - 生徒
  - 保護者
- 経過
  - ・関係競技団体への協力要請
  - ・指導者のマッチング
  - ・モデルケース視察
  - ・モデルケースの成果と課題の検証
- 実施にあたって生じた課題
  - ・コーディネーターの不在
  - ・生徒登録、指導者への謝金支払いなどの事務処理
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・関係競技団体への説明により協力者を増やす取組

地域クラブ活動  
モデルケースの  
開始

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和8・9年

地域クラブ活動の拡大

- ステークホルダー
  - ・クラブ活動指導者
  - ・関係競技団体
  - ・スポーツ少年団
- 経過
  - ・関係競技団体への協力要請
  - ・指導者のマッチング
- 実施にあたって生じた課題
  - ・コーディネーターの委嘱
  - ・生徒登録、指導者への謝金支払いなどの事務処理
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・指導者への依頼
  - ・指導者との調整
  - ・使用施設の申請等

学校現場との調整  
生徒、保護者への説明

- ステークホルダー
  - ・生徒、保護者
  - ・校長会、教職員
- 経過
  - ・校長会、教職員への説明
  - ・生徒、保護者への説明
  - ・クラブ活動参加希望調査
- 実施にあたって生じた課題
  - ・指導者の確保
  - ・受け皿団体の不足
  - ・市教委内の取組の役割分担
- 実施内容、工夫した点 等

地域クラブ活動  
新規モデルケースの  
開始

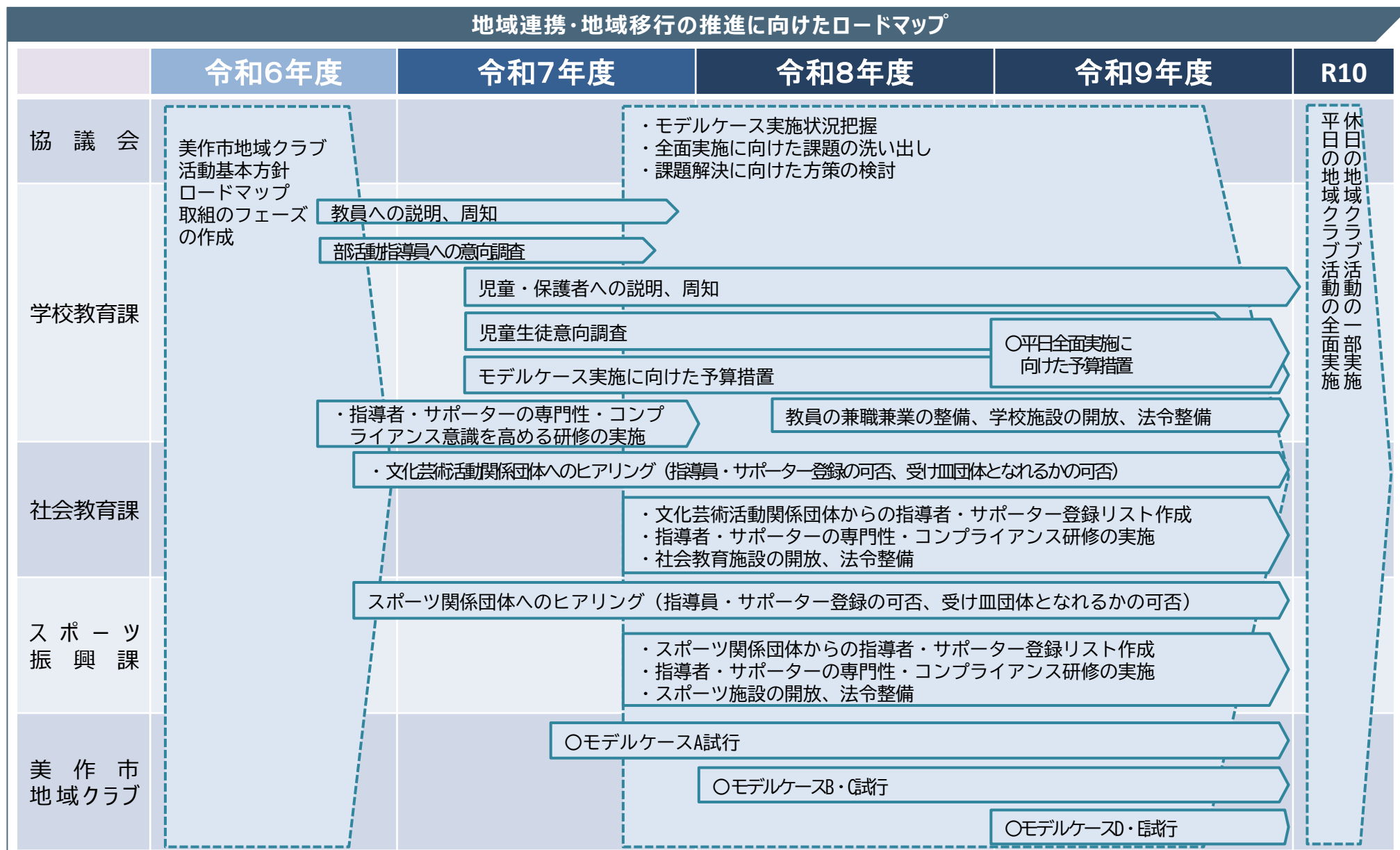
- ステークホルダー
  - ・クラブ活動指導者
  - ・市スポーツ協会
  - ・関係競技団体
- 経過
  - ・運営主体、実施主体の検討
  - ・クラブ活動モデルケースの指導者への依頼
  - ・モデルケースの成果と課題の検証
- 実施にあたって生じた課題
  - ・指導者の確保
  - ・受け皿団体の不足
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・モデルケースの実施により先行事例を作り、横展開してく。

地域クラブ活動運営  
主体・実施主体  
の整備

令和10年

地域クラブ活動  
全面实施

# 3. 今後の方向性



**令和7年度**

# **文化部活動改革（部活動の地域移行に向けた実証事業等）**

**地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業**

## **岡山県美作市**

自治体名：美作市

担当課名：美作市教育委員会学校教育課

電話番号：0868-72-1162

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	429.2 km <sup>2</sup>
人口	24,882 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	518 人
部活動数 (文化部活動のみ)	7 部活
地域クラブ活動数	1 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

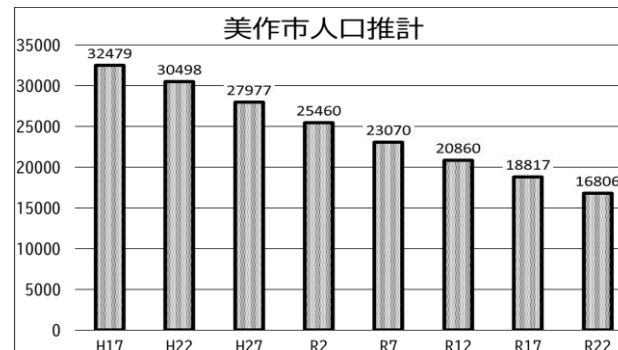
## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

市内各地域のスポーツ活動は、人口減少・少子化の影響による参加者の減少に伴い統廃合や廃止されたものが多くある。

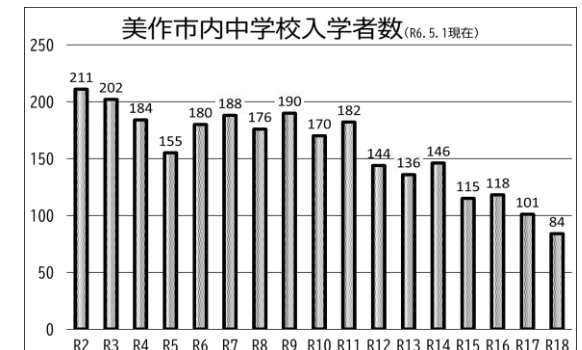
また、子どもたちの健やかな成長に大きな役割を果たしてきた学校部活動であるが、生徒数の減少等によるやむを得ない廃部や、単独で試合に出られない学校が大幅に増えるなど、今後子どもたちの活動の選択肢がさらに少なくなることが危惧される状況である。

令和5年度より美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会を立ち上げ、子どもの多様な体験の機会を確保するとともに、持続可能な運営を図るための体制整備について、学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体など、様々な立場からの意見を集約し、美作市にとってふさわしい地域連携・地域移行の在り方を検討している。

- 【課題】
- (1) 運営主体における役割分担と協力体制の構築
  - (2) 人材確保のための教育委員会、スポーツ協会等の団体、地域との連携
  - (3) 実施主体の構築
  - (4) 会費徴収に関する保護者・学校等の理解
  - (5) 高校や市内スポーツ団体との連携



(出典：住民基本台帳、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)

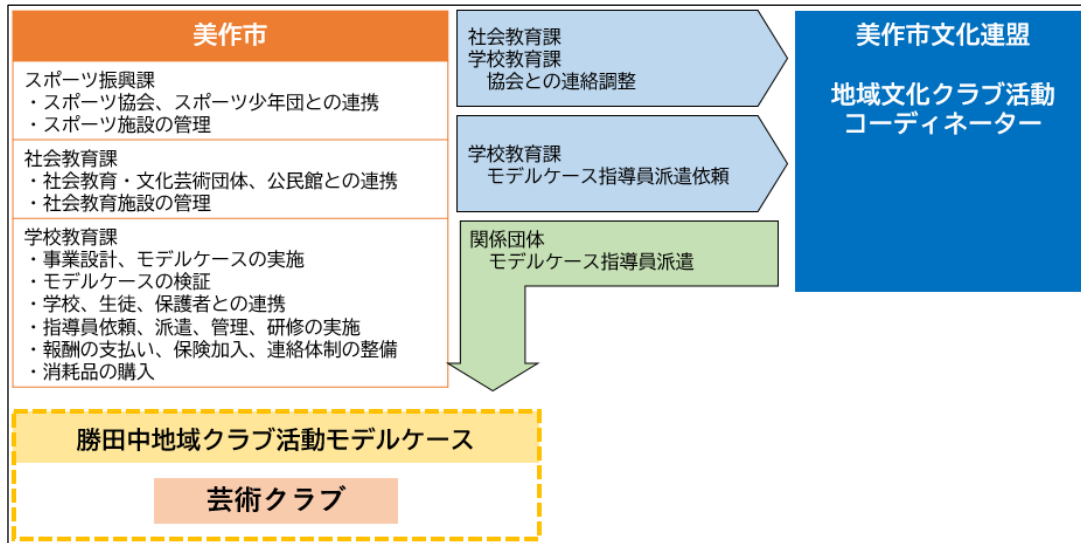


(出典：美作市住民基本台帳より)

# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●市区町村における推進体制図



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会（学校教育課・スポーツ振興課・社会教育課）

- ・総括事務局、制度設計、提案・調整・連絡、相談窓口
- ・市文化連盟、市内文化団体等との連絡調整
- ・指導者、サポーターの募集
- ・市スポーツ協会、市内スポーツ団体等との連絡調整

#### ◎コーディネーター

コーディネーターは、関係団体との連絡調整、クラブ活動の活動場所の確保、指導者の確保と派遣クラブのマッチングの役割を担う。

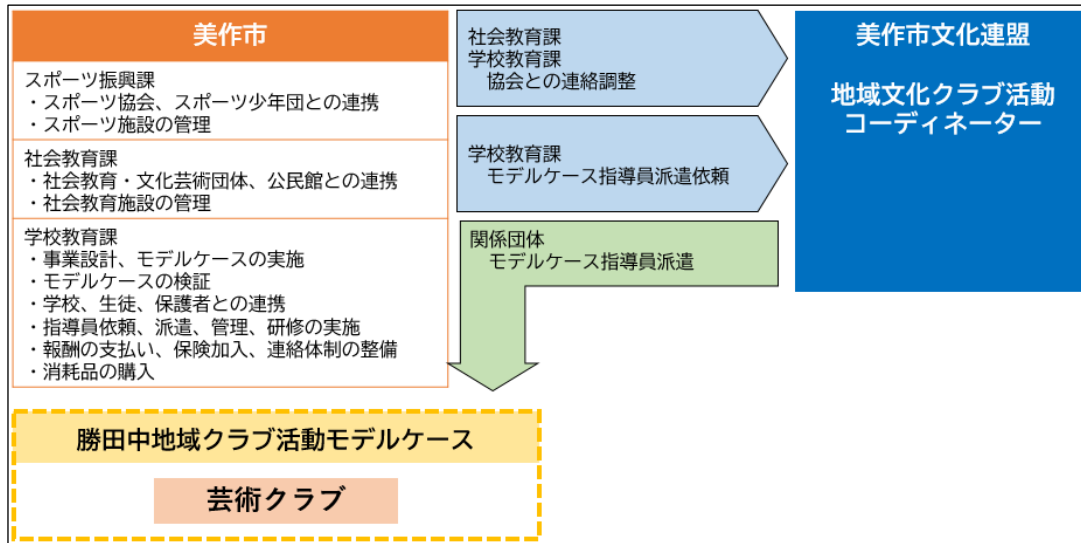
## 年間の事業スケジュール

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員、生徒、保護者への説明資料作成</li> <li>・勝田中モデルケース実施校の教員への説明周知</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝田中モデルケース実施校の保護者への説明周知</li> <li>・モデルケース指導員の説明、募集</li> <li>・第1回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリング業務委託業者の選定</li> <li>・ヒアリング業務委託業者への見積依頼</li> <li>・勝田中モデルケース指導員のマッチング</li> <li>・全校対象モデルケース水泳指導員の募集、説明</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会</li> <li>・ヒアリング業務委託業者の決定</li> <li>・関係団体へのヒアリング（～R8.2.10）</li> <li>・全校対象モデルケース水泳の周知、参加者募集</li> <li>・勝田中モデルケース指導員のマッチング</li> <li>・勝田中モデルケース実施校の保護者への説明周知、参加希望調査(31)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝田中モデルケース実施校の生徒への説明周知、参加希望調査(6)</li> <li>・勝田中モデルケース参加生徒の取りまとめ、指導員への情報提供</li> <li>・勝田中モデルケース指導員へのコンプライアンス意識を高める研修</li> </ul>

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会（学校教育課・スポーツ振興課・社会教育課）

- ・総括事務局、制度設計、提案・調整・連絡、相談窓口
- ・市スポーツ協会、市内スポーツ団体等との連絡調整
- ・指導者、サポーターの募集
- ・市文化連盟、市内文化団体等との連絡調整

##### ◎コーディネーター

コーディネーターは、関係団体との連絡調整、クラブ活動の活動場所の確保、指導者の確保と派遣クラブのマッチングの役割を担う。

### 年間の事業スケジュール

9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝田中モデルケース指導員への依頼及び承諾書の提出</li> <li>・勝田中モデルケース開始（～R8. 2. 10）</li> <li>・勝田中モデルケース実施状況視察</li> <li>・第2回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝田中モデルケース実施状況視察</li> <li>・モデルケース実施状況の把握、成果と課題の整理</li> <li>・令和8年度予算積算</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルケースにおける成果と課題の整理</li> <li>・全面実施に向けた課題の洗い出し</li> <li>・課題解決に向けた方策の検討</li> <li>・令和8年度予算要求</li> <li>・第3回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会</li> <li>・第3回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度モデルケースの検討</li> <li>・令和8年度事業計画策定</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度モデルケース指導者のマッチング</li> <li>・令和7年度事業完了報告</li> <li>・令和8年度モデルケース実施計画の作成</li> </ul>

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1 クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	1 クラブ（1 部活動）	
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数	0 クラブ	
全体の指導者数	3 人	全体の運営スタッフ数	3 人

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
勝田中 芸術クラブ	美作市 教育委 員会	芸術	平日 3 回	16:00 ~17:00	2年:3人 1年:6人	R7.9.1~ R8.2.10	3 人	3人 (兼務なし)	無料	中文連： 部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

・実施なし

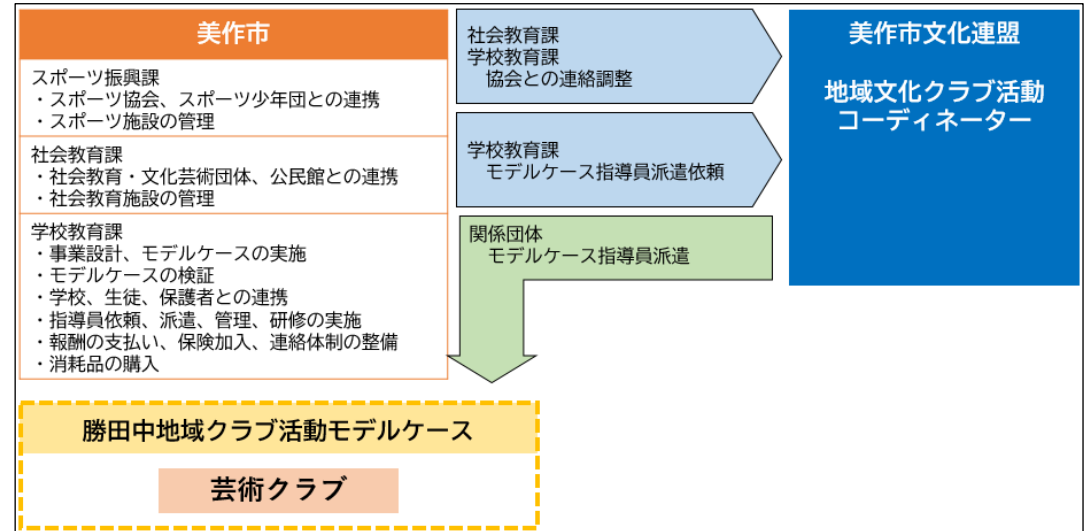
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●美作市地域クラブ<sup>※</sup> 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	芸術
運営団体名	美作市教育委員会学校教育課
期間と日数	9/1～2/10 週3日
指導者の主な属性	元教員、部活動指導員、文化協会会員
活動場所	美作市立勝田中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、スクールバス
1人あたりの参加会費等（年額）	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 ・生徒1人あたり：800円/年 ・指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●地域クラブ<sup>※</sup>活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 自治体、統括責任者  
役割：活動場所の確保 教員、生徒、保護者への説明・周知  
全校対象モデルケース水泳指導員へのコンプライアンス意識を高める研修  
参加生徒リスト作成・傷害保険加入手続き
- コーディネーター  
役割：指導員への説明、募集、マッチング
- 主任指導者 2名  
役割：活動計画の作成、参加者への周知、指導及び安全管理

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

美作市クラブ活動のガバナンス組織として、一般社団法人美作市スポーツ文化協会を設置するため、美作市文化連盟に協力を仰ぎ、関係団体対してヒアリングを行った。

ガバナンス組織を設置するに当たり、どのような体制が美作市にふさわしいかについて、専門家の助言と関係団体のヒアリングの結果をもとに協議会において検討する。

総括コーディネーターやコーディネーターの人選及び配置

##### 取組の成果

美作市文化連盟とその関係団体対してヒアリングを行い、関係者から部活動地域展開の取組を推進していくことに理解を示していただき、関係者の理解が深まった。

美作市文化連盟との協議の結果、運営主体の在り方について、継続して検討を進めることとなった。

コーディネーターの人選及び配置は美作市文化連盟に適任者がおり、配置できた。

コーディネーターの配置によって、指導者の配置、活動の実施を円滑に行うことができた。

##### 今後の取組における課題

地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置付けるか、継続して検討が必要である。

美作市文化連盟とその関係団体へのヒアリングにより、関係者の理解は深まったが、美作市として地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置づけていくかについて、さらに議論を深め、その在り方について検討を継続する必要がある。

総括コーディネーターやコーディネーターの人選及び配置

##### 課題への対応方針

他市の取組の情報収集や、地域クラブ活動に見識のある有識者を招聘し、助言を受け、地域クラブ活動の運営主体と実施主体の在り方を検討していく。美作市文化連盟等の関係団体の協力を得ながら、総括コーディネーターやコーディネーターの人選を進める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

指導員を運営主体に推薦

指導者間の連絡調整

- ・活動内容の調整
- ・活動スケジュールの調整

学校との情報共有

- ・生徒の活動状況
- ・備品、消耗品の管理方法

##### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

地域クラブへの登録にフォームを活用し、デジタル化を図った。

##### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

今年度、運営団体・実施主体を美作市教育委員会学校教育課が担った。安全性を確保するため、市教委担当者から指導者に対して緊急時の対応に確認を行った。

「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」に準拠した運営体制の研究。

法令等に基づく事業運営ため、実施要項を策定した。

公正かつ適切な会計処理のために、部局会計課から指導助言を受け、会計処理を実施した。

##### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含め管理責任の主体は運営及び実施主体である美作市教育委員会である。

事故等が発生時のマニュアルを指導者と共有した。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

指導者の量の確保については、市文化連盟の協力を得て指導者リストを作成した。

指導者に対して、どのような条件のもと指導者として参画できるか、アンケート調査を行った。

美作市地域クラブ活動モデルケースで実施する種目の指導者に協力を依頼し、実施する曜日・時間・場所等の調整を行った。

指導者の量の確保に重点を置いたため、今年度は指導者の質を高める取組は実施できなかった。

##### 取組の成果

地域クラブ活動に参加した中学生19人を対象としたアンケートの結果、回答者の全員から肯定的な回答が得られ、参加者にとって満足感が得られる活動となった。

モデルケースを実施した学校では、クラブ活動が新設されたことによって、同種目の部活動の日数を6～3割程度削減し、教員の時間外勤務が平均30分削減し、教員の働き方改革に資するものとなった。

部活動にない種目をクラブ活動として実施しようとしたが、参加希望者が無いため実施できなかった。

##### 今後の取組における課題

平日・休日ともに指導者の確保が不十分である。

指導者の質を一定に保ちながら、量を確保することが課題である。

競技指導の専門性を高める研修会の実施は、単市の取組としては困難である。

##### 課題への対応方針

市文化連盟の協力を得て、平日・休日の参画の可否や参画可能な時間帯を追記した指導者・サポーターリストを作成する。

県主催の研修会への参加を奨励する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

指導者の量の確保については、市文化連盟の協力を得て指導者リストを作成した。

指導者に対して、どのような条件のもと指導者として参画できるか、アンケート調査を行った。

##### 指導者研修の内容

研修名	文化芸術活動の指導におけるコンプライアンス研修
講師	美作市教育委員会学校教育課職員
研修内容	生徒と指導者が適切な距離を保つことができるように各学校の校内ルールを確認する。 生徒と指導者という関係性を越えたり、個人的な感情によって特定の生徒を特別扱いしたりしないこと。 校内ルールを遵守して行動することは、生徒を守ると同時に、指導者自身を守ることにもつながること。

##### 指導者研修受講者の声

#### ●参加者の声

##### 参加者①

報告・連絡・相談が重要であることがよく分かった。子どもたちを守るため県教育委員会が定めている「子どもたちを守る5つの禁止行為」を遵守することが大切である。

##### 参加者②

正常性バイアスがかかって、事態を過小評価していないか、1日あったことを振り返る。何か少しでも引っかかることがあれば、報告・連絡・相談を行う。誰に対しても明確な説明ができる行動を心掛ける。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 指導者の資格取得促進に向けた取組

指導者の資格取得促進に向けた取組は実施していない。

指導者総数	3人
資格所持指導者数	0人
本年度資格を取得した指導者数	0人

##### 平日・休日の一貫指導に関する取組

活動記録簿による情報共有

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

美作市の学校教育課、スポーツ振興課、社会教育課の3課の協働により、関係団体との連携強化が進んだ。

美作市クラブ活動の運営主体・実施主体の在り方について、美作市文化連盟に協力を仰ぎ、関係団体に対してヒアリングを行った。（再掲）

さらなる連携強化に向けて、学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体などで組織する「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」において課題等の協議を通して、部活動地域展開に対する理解を深め、連携強化に取り組んだ。

##### 取組の成果

美作市文化連盟との協議の結果、運営主体の在り方について、継続して検討を進めることとなった。

美作市文化連盟の関係団体に対してヒアリングを行い、関係者の理解が深まった。

学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体などで組織する「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」において課題等の協議を通して、部活動地域展開に対する理解を深め、連携強化を図ることができた。

##### 今後の取組における課題

美作市地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置付けるか、継続的な検討が必要である。

「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」における議論の活性化が必要である。

##### 課題への対応方針

部局と教育委員会が意思疎通を図りながら、美作市文化連盟及び関係団体と合意形成を図り、美作市地域クラブ活動の運営主体と実施主体の在り方を検討していく。

「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」における議論を活性化させるため、協議会の持ち方や運営方法を工夫する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

**工：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 工：面的・広域的な取組

##### 取組事項

教員・生徒・保護者への周知活動として、教員対象の説明会、学校での生徒及び保護者への説明会を開催して周知を行った。

市民への周知活動として、ケーブルテレビを活用した周知を行った。

隣接している西粟倉村と本市の大原地区と西粟倉村との連携した広域連携型のクラブ活動の実施について提案があり、定期的に西粟倉村との情報交換会を行った。

##### 取組の成果

市のケーブルテレビに協力により周知用番組を作成し、ケーブルテレビで放映した。

隣接している西粟倉村からの本市の大原地区と西粟倉村との連携した広域連携型のクラブ活動の提案によって、中山間地域の生徒のクラブ活動の受け皿が確保できる可能性が広がった。

##### 今後の取組における課題

クラブ活動の募集段階で、参加を悩む生徒、参加した生徒からの声を聞いて参加を希望した生徒がいたことから、生徒に募集を周知する際、活動内容が伝わる広報活動が必要である。

市内の体制整備と並行して、隣接町村との連絡調整を行いながら連携を継続していく必要がある。

##### 課題への対応方針

「いつでも参加でき、いつでもやめられる」「複数種目・掛け持ち可能」といった、従来の部活動の「必須」「強制」「縛り」のイメージを払拭する柔軟性を前面に出したPRが不可欠である。

子ども、指導者、保護者すべてに対し、従来の部活動的な先入観を取り除く必要がある。

紙媒体だけでなく、SNSや学校タブレット、みまちゃんネルなど、視覚的に雰囲気伝わる媒体を活用する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

生徒の志向等の状況に適した文化活動に親しむ機会の確保と活動内容の充実のため、教職員及び児童・生徒にアンケート調査を実施した。  
スポーツ活動と文化活動の両方に参加できる地域スポーツクラブ活動として、水泳、剣道、柔道、卓球、野球、芸術のクラブ活動をモデルとして計画した。  
複数の活動に参画できる機会を提供することで多様な活動機会を提供する。

##### 取組の成果

生徒の希望と指導者の確保の関係から実施種目は、芸術であった。

教職員へのアンケート結果は次のとおりである。

教員の負担軽減  
「顧問の負担が軽減されること」への期待が最も多く、「休日の部 活動指導からの解放」「残業時間の削減」といった声が上がった。

生徒の選択肢拡大  
「指導できる専門家が増える」「多様な種目から選べるようになる」など、生徒がより専門的な指導を受けられることや、活動の選択肢が広がることに期待が寄せられている。

指導の質の向上  
地域人材や外部指導者の活用により、「専門性の高い指導を受けられる」「指導の均質化が図られる」といった効果も期待されている。

##### 今後の取組における課題

生徒の安全管理  
行き帰り、活動中の怪我を懸念。「事故時の責任の所在」の課題  
・地域人材の確保と質  
「指導者の確保が困難」「指導者の質のばらつき」といった、活動を担う人材に関する懸念  
・運営体制  
「運営費の捻出方法」「参加費の負担」「施設や用具の確保」などの運営体制に関する不安が顕著であった。  
・教員と地域クラブの連携  
「生徒の情報共有が難しくなる」「顧問としての役割が曖昧になる」など、教員と地域クラブ間の連携や役割分担の課題

##### 課題への対応方針

教職員アンケート結果の課題を協議会等の場で対応策を検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

- ・受益者負担の原則に基づく適切な参加費徴収
- ・地域クラブ活動の持続可能な運営に資する自主財源の確保に向け、運営資金の確保手段、公的資金と受益者負担の枠組みの検討
- ・経済的困窮世帯への支援の枠組みの検討  
市内の部活動とクラブ活動が併設されるため、地域格差を生まないよう令和7年度は参加費を徴収しない。  
経済的困窮世帯への支援の枠組みについては、生活保護世帯または就学援助費受給世帯については減免とする方向で研究していく。

##### 取組の成果

取組を実施できなかった。

##### 今後の取組における課題

取組を実施できなかった。

##### 課題への対応方針

近隣他市の取組を参考として、参加費負担の在り方を検討していく。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組

## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

#### 収支バランス

- ・受益者負担の原則に基づく適切な参加費徴収
- ・地域クラブ活動の持続可能な運営に資する自主財源の確保に向け、運営資金の確保手段、公的資金と受益者負担の枠組みの検討
- ・経済的困窮世帯への支援の枠組みの検討
  - 市内の部活動とクラブ活動が併設されるため、地域格差を生まないよう令和7年度は参加費を徴収しない方向性である。
  - 経済的困窮世帯への支援の枠組みについては、生活保護世帯または就学援助費受給世帯については減免とする方向で研究していく。

### ●収入

項目	費用	割合
公費	XXXXX	XX%
事務局運営費	XXXXX	XX%
合計	XXXXX	—

### ●支出

項目	費用	割合
地域クラブ活動費	XXXXX	XX%
諸謝金(指導者)	XXXXX	XX%
会場使用料	XXXXX	XX%
消耗品費	XXXXX	—
印刷製本費	XXXXX	—
携帯電話レンタル料	XXXXX	—
雑役務	XXXXX	—
生徒保険料	XXXXX	—
指導者保険料	XXXXX	—
事務局運営費	XXXXX	XX%
謝金	XXXXX	—
会場使用料	XXXXX	—
イベント開催費	XXXXX	—
保険料	XXXXX	—
人件費	XXXXX	—
交通費	XXXXX	—
印刷製本費	XXXXX	—
消耗品費	XXXXX	—
備品購入	XXXXX	—
通信運搬費	XXXXX	—
修繕料	XXXXX	—
振込手数料	XXXXX	—
一般管理費	XXXXX	—
消費税相当額	XXXXX	—
合計	XXXXX	—

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

学校の施設・設備・備品等を使用して地域クラブ活動を実施する際の利用ルールを策定する。

地域クラブ活動のために学校施設を使用する場合の優先利用や使用料減免等の仕組みを検討する。

##### 取組の成果

学校施設の一般開放の際のルールを準用した。  
利用団体の競合がなかったため、検討していない。

##### 今後の取組における課題

複数の活動で施設利用が重複した場合、利用調整をどのようにしていくか。

##### 課題への対応方針

運営主体が利用調整等を行っていけるよう体制を整備していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

学校施設の一般開放の際のルールを準用した。  
キーボックスによる鍵の返却

##### 用具使用・管理等における取組

活動に必要な消耗品等の保管スペースの確保

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

活動場所までの生徒の輸送手段の検討

拠点型やALL型の活動では、生徒の移動距離が10kmを超えることが想定される。生徒の輸送手段について保護者送迎以外に有効な手段がないか研究する。

##### 取組の成果

スクールバスの活用等を検討したが、必要経費が多額のため、保護者送迎に頼らざるを得ない状況である。

##### 今後の取組における課題

生徒輸送に係る経費の補助の在り方をどのようにしていくか。

##### 課題への対応方針

スクールバスによる対応は財政面で困難なため、公共交通機関を活用した生徒輸送に対して補助を行うか検討していく。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

地域文化クラブ活動を1種目であるが、実施できたことは、運営主体や実施主体の在り方、国の方針との整合性、クラブ活動の運営に係る具体的な事務処理内容の把握など、取組によって見えてくる課題が発見できたことが最大の成果である。

美作市教育委員会学校教育課を中心とした取組から、市の機構改革もあり、スポーツ振興課、社会教育課との連携が強固となり、3課の協働による実施体制が構築できたことも大きな成果である。

部活動地域展開の知見を持つ県の部活動地域移行アドバイザーを招聘し、研修会や協議会で他市町村の動向や先進事例の情報を示していただくことで、関係者の理解が深まった。

西粟倉村からの本市の大原地区と西粟倉村との連携した広域連携型のクラブ活動の提案があり、中山間地域の生徒のクラブ活動の受け皿が確保できる可能性が広がった。

#### ●成果の評価

##### 達成目標

- (1) 1中学校区にモデルケースによる地域クラブを設置  
→1クラブを設置、中学校区に閉じた活動となったため、市内全体を対象とした体験会を計画することが必要である。
- (2) 市内における受け皿作りのための協議会の設置及び継続的な協議の実施  
→協議会を3回実施。
- (3) クラブ活動の中学生参加数を令和6年度比120%増  
→参加生徒数は、前年比と同様の数値となった。取組の周知を図り、参加者を増やしていく。
- (4) 地域クラブ指導者を確保するとともに、平日及び休日の安定的な指導体制を確立  
→指導者の確保は1割に満たない状況である。文化連盟の協力を得ながら、指導者・サポーターとなる人材のリスト化に取り組む。

#### ●今後に向けて

他市の取組を情報収集し、美作市の実情に合った取組を検討していく。次に示す内容を重点事項として、検討を進める。

- ・ 市内全域を対象とした地域スポーツクラブ体験会を実施する。  
(芸術、パソコン)
- ・ 美作市として地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置づけていくかについて、さらに議論を深め、その在り方について検討していく。
- ・ 認定地域クラブ活動を実施していくための制度設計について研究し、美作市の実情に即した制度を策定していく。
- ・ 生徒輸送については、公共交通機関の利用も含め検討していく。

## 2.実証内容と成果③

### 参考資料



【勝田中学校地域クラブ活動（芸術）活動場面】



【勝田中学校地域クラブ活動（芸術）指導場面】

#### 写真

※何の様子かわかるように  
キャプションを挿入すること

【キャプション】

#### 写真

※何の様子かわかるように  
キャプションを挿入すること

【キャプション】

## 2.実証内容と成果④

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

協議会設置、  
検討開始

- ステークホルダー
  - ・学校教育課
  - ・スポーツ振興課
  - ・社会教育課
  - ・協議会委員
- 経過
  - ・協議会委員の選定
  - ・準備会の実施
  - ・教員、生徒アンケート
  - ・関係団体へのヒアリング
  - ・協議会開催
- 実施にあたって生じた課題
  - ・関係団体の協力体制の構築
  - ・市教委内の取組の役割分担
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・協議会委員の選定
  - ・準備会の実施
  - ・教員、生徒アンケート
  - ・関係団体へのヒアリング

令和6年

受け皿団体や  
指導者の選定

- ステークホルダー
  - ・市文化連盟
  - ・各地区文化協会
  - ・連盟所属の競技団体
  - ・校長会、教職員
- 経過
  - ・協議会委員の選定
  - ・準備会の実施
  - ・協議会（年3回）
  - ・校長会への説明
- 実施にあたって生じた課題
  - ・関係団体の協力体制の構築
  - ・受け皿団体の不足
  - ・市教委内の取組の役割分担
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・協議会で活発な意見がでるよう、グループでの協議を行う。
  - ・市関係課の準備会

令和7年

学校現場との  
調整

- ステークホルダー
  - ・市文化連盟
  - ・生徒
  - ・保護者
  - ・クラブ活動指導者
- 経過
  - ・運営主体、実施主体の検討
  - ・市文化連盟への説明
  - ・市文化連盟会員の研修会
  - ・クラブ活動モデルケースの指導者への依頼
- 実施にあたって生じた課題
  - ・受け皿団体の不足
  - ・関係団体の協力体制の構築
  - ・市教委内の取組の役割分担
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・モデルケースの実施により先行事例を作り、横展開していく。

生徒、保護者へ  
の説明

地域クラブ活動  
モデルケースの  
開始

- ステークホルダー
  - クラブ活動指導者
  - 関係団体
  - 生徒
  - 保護者
- 経過
  - ・関係団体への協力要請
  - ・指導者のマッチング
  - ・モデルケース視察
  - ・モデルケースの成果と課題の検証
- 実施にあたって生じた課題
  - ・生徒登録、指導者への謝金支払いなどの事務処理
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・関係競技団体への説明により協力者を増やす取組

## 2.実証内容と成果④

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和8・9年

地域クラブ活動の拡大

- ステークホルダー
  - ・クラブ活動指導者
  - ・関係団体
- 経過
  - ・関係競技団体への協力要請
  - ・指導者のマッチング
- 実施にあたって生じた課題
  - ・コーディネーターの委嘱
  - ・生徒登録、指導者への謝金支払いなどの事務処理
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・指導者への依頼
  - ・指導者との調整
  - ・使用施設の申請等

学校現場との調整  
生徒、保護者への説明

- ステークホルダー
  - ・生徒、保護者
  - ・校長会、教職員
- 経過
  - ・校長会、教職員への説明
  - ・生徒、保護者への説明
  - ・クラブ活動参加希望調査
- 実施にあたって生じた課題
  - ・指導者の確保
  - ・受け皿団体の不足
  - ・市教委内の取組の役割分担
- 実施内容、工夫した点 等

地域クラブ活動  
新規モデルケースの  
開始

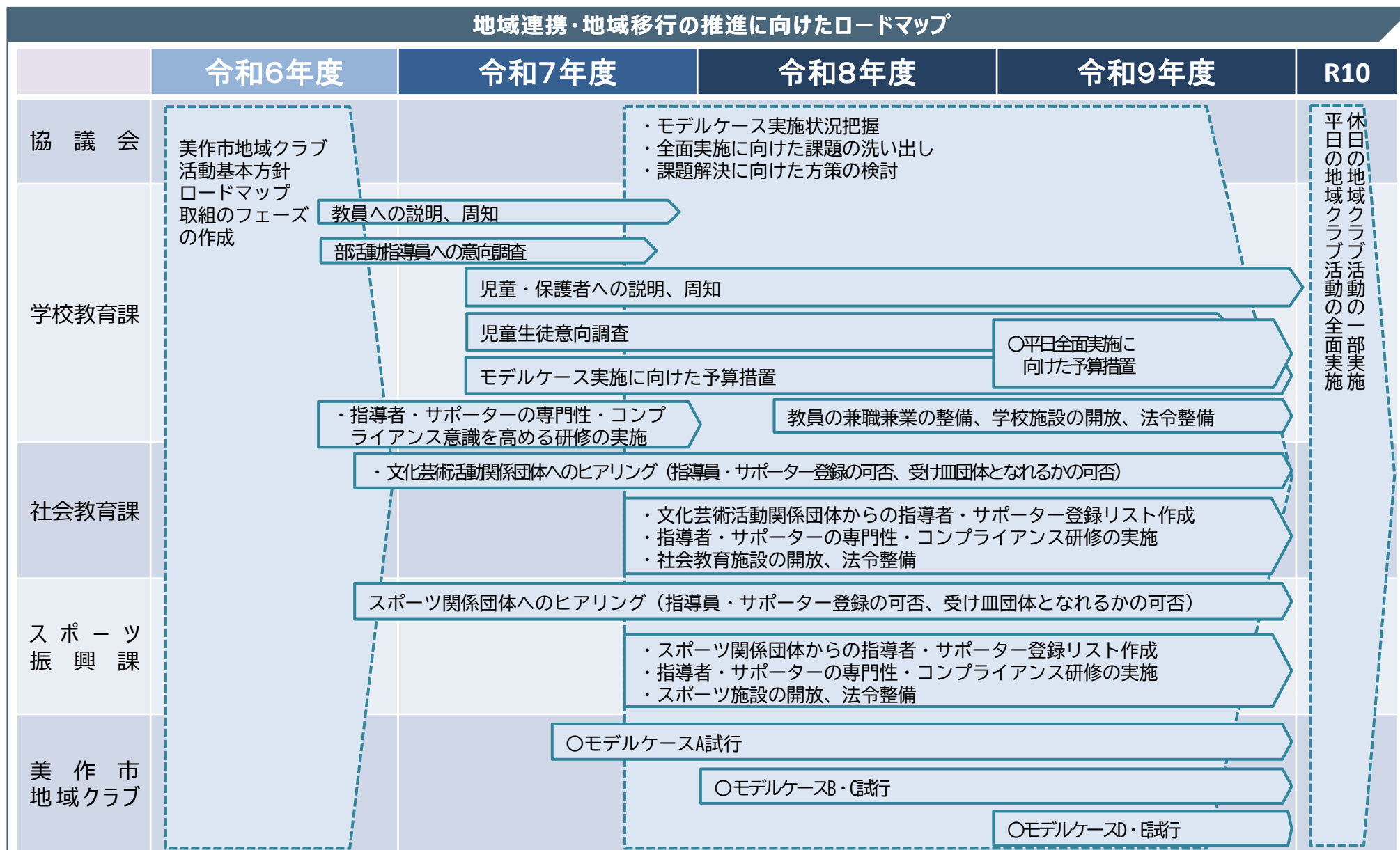
- ステークホルダー
  - ・クラブ活動指導者
  - ・市文化連盟
  - ・各地区文化協会
- 経過
  - ・運営主体、実施主体の検討
  - ・クラブ活動モデルケースの指導者への依頼
  - ・モデルケースの成果と課題の検証
- 実施にあたって生じた課題
  - ・指導者の確保
  - ・受け皿団体の不足
- 実施内容、工夫した点 等
  - ・モデルケースの実施により先行事例を作り、横展開してく。

地域クラブ活動運営  
主体・実施主体  
の整備

地域クラブ活動  
全面实施

令和10年

# 3. 今後の方向性



令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 岡山県高梁市

自治体名：岡山県高梁市

担当課名：高梁市教育委員会こども教育課

電話番号：0866-21-1508

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	546.99km <sup>2</sup>
人口	25, 280人
公立中学校数	6校
公立中学校生徒数	520人
部活動数 (運動部活動のみ)	29部活
地域クラブ活動数	4クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	未設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

国の方針をうけ、高梁市の学校部活動の現状を分析すると、以下のような課題が整理された。

- ・団体競技において、単独校ではチームが組めない状況が多くあり、今後は更に厳しい状況が続く。
- ・小規模校においては、選択できるスポーツ（運動部）が限定的で、やりたいスポーツができない。
- ・市内全体で、文化芸術活動（文化部）ができる部活動は一つだけであり、ニーズに応えられていない。
- ・小学校年代まで親しんでいたスポーツ（スポ少など）から離れる場合も多い。
- ・学校の先生は指導経験のないスポーツを教えることもあり、長時間勤務の要因にも・・・。

そこで、部活動の地域展開という目的をふまつつも、もっと大きな枠で事業を推進することとし、前向きなキャッチコピー「ジュニハイ・ホリメ」と名付けた、中学校生徒の「休日の過ごし方改革」を前面に押し出した事業方針を打ち出し、取り組んできている。

本事業の核としては、生徒がスポーツ・文化芸術活動・ボランティア活動等、多種多様な活動に継続して親しむことができる機会を確保し、環境の整備を行うことである。また、地域での多様な体験や様々な世代との豊かな交流等を通じた学びや家族との時間の見直し等、休日の過ごし方の新しい価値を創出することである。そのため、既存団体を活かし、そこに生徒を誘導していくという取組を目指しているところである。

ただ、下記のグラフからも分かるように、本市の10年後の生徒数は半数近く減少するため、持続可能な取組となるような制度設計を行っていくことが大切である。あた、本取組では、休日の部活動の廃止も視野に入れているため、生徒や学校、保護者の理解を得ながら進めていく必要もある。そのためにも、前向きに捉えてもらうための周知方法を考えたり、受け皿団体の獲得による環境整備をしていったりすることが課題となる。

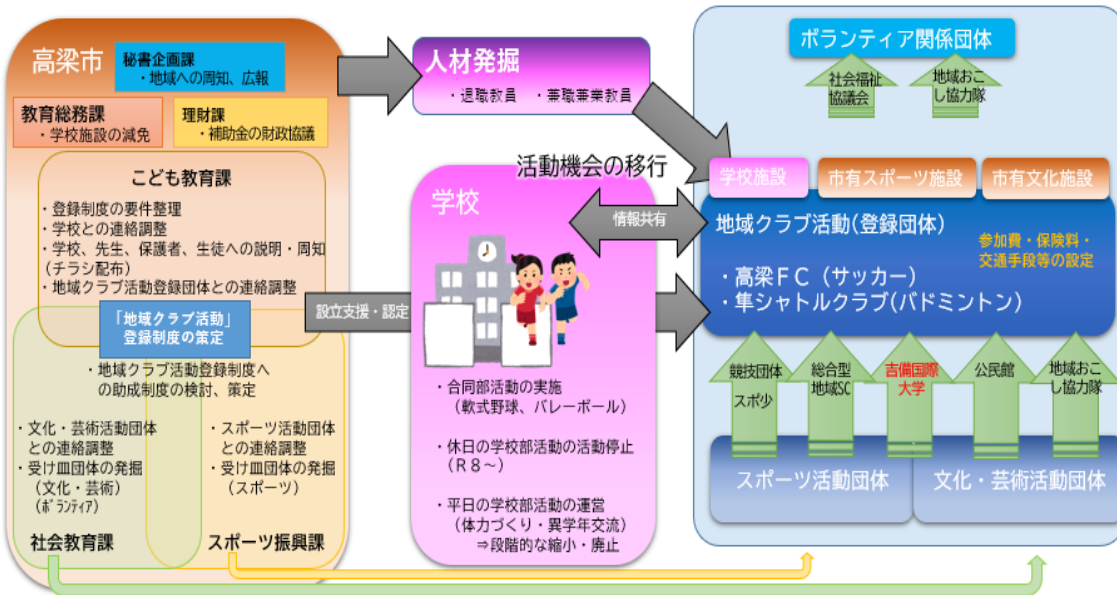
学校名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
高梁中	272	269	271	247	257	260	245	213	192			
高梁東中	32	29	20	18	16	14	15	15	18			
高梁北中	48	36	27	25	24	19	17	13	10			
成羽中	85	85	95	91	102	98	94	74	70			
川上中	34	34	33	30	30	28	31	27	30			
有漢学園	49	55	70	70	60	42	44	42	40			
<b>合計人数</b>	<b>520</b>	<b>508</b>	<b>516</b>	<b>481</b>	<b>489</b>	<b>461</b>	<b>446</b>	<b>384</b>	<b>360</b>	<b>336</b>	<b>329</b>	<b>283</b>
中1	196	159	165	157	167	137	142	105	113	118	98	67
中2	165	196	159	165	157	167	137	142	105	113	118	98
中3	172	165	196	159	165	157	167	137	142	105	113	118

再編による人数変動については加味していない。

# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●市区町村における推進体制図



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

##### 【こども教育課】

・登録制度の要件整理   ・学校との連絡調整   ・学校、先生、保護者、生徒への説明・周知（チラシ配布）   ・地域クラブ活動登録団体との連絡調整

##### 【スポーツ振興課】

・地域クラブ活動登録制度への助成制度の検討、策定  
 ・スポーツ活動団体との連絡調整   ・受け皿団体の発掘（スポーツ）

#### ◎首長部局

【秘書企画課】 ・地域への周知、広報

## 年間の事業スケジュール

令和7年4月	中学校長会との検討
令和7年6月	第1回「学校部活動（主として休日）の地域展開」検討会議
令和7年7月	「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会の開催
令和7年9月	第2回「学校部活動（主として休日）の地域展開」検討会議 ・補助金制度について
令和7年11月	教職員向け説明動画の配信
令和8年1月	児童生徒・保護者向け説明動画の視聴・配信
随時	「ジュニハイ・ホリメ」「地域クラブ活動」登録への呼びかけ・登録認定
随時	各スポーツ団体との打合せ
随時	移動手段や減免措置等についての検討

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		4クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		3クラブ（1部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		1クラブ
全体の指導者数	13人	全体の運営スタッフ数	把握なし

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数	会費	大会参加方法
高梁FC	スポーツ少年団(母体)	サッカー	休日：月4回 平日：月12回	休日：AM 3時間 平日：夕方 2時間	中学全学年	通年	11人	2人	2,000円/月	中体連、その他：地域クラブ
高梁方谷剣道	スポーツ少年団(母体)	剣道	休日：月4回 平日：月12回	休日：16:00～19:00 3時間 平日：18:00～20:00 2時間	中学1・2年	通年	3人	1人	2,000円/月	その他：地域クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 特になし

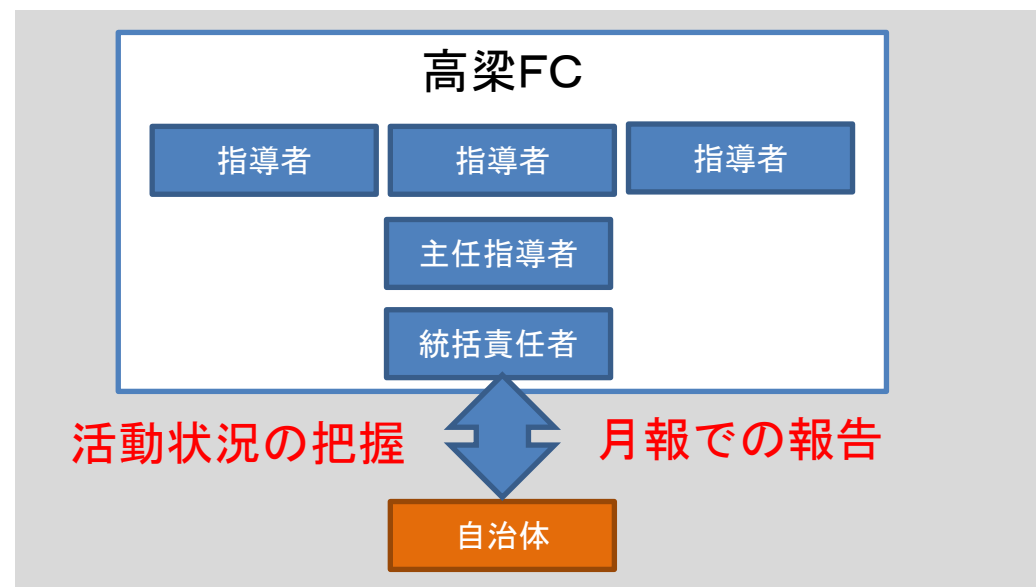
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●高梁FC（地域クラブ活動） 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	高梁フットボールクラブスポーツ少年団
期間と日数	休日月4回程度 平日月12回程度
指導者の主な属性	スポーツ少年団指導者
活動場所	ききょう緑地
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	24,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 自治体  
役割：月報を確認し、活動状況を把握する
- 統括責任者  
役割：月報を作成し、自治体へ報告を行う
- 主任指導者 1名  
役割：技術指導等を行う

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

## 取組内容

### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

今までの関係性を活かして、個別にスポーツ少年団や競技団体指導者等へ声掛けを行う。声掛けはスポーツ振興課が、登録作業は、こども教育課が担う。

「ジュニハイ・ホリメ」に参加して、中学生と一緒に活動しませんか！

スポーツ振興課

スポーツ活動団体

高松市「ジュニハイ・ホリメ」参加団体登録申請書(書)

高松市教育委員会教育課 様

今年 年 月 日

目的(この団体は高松市立中学校及び私立中学校の生徒がスポーツや文化活動に継続して参加することを目的として活動する団体です。『ジュニハイ・ホリメ』に参加することを目的としています。)

団体・クラブ名				
活動種目・活動内容				
代表者氏名				
連絡先者氏名	〒	〒	〒	〒
連絡先者住所				
連絡先者電話番号				
活動開始時期	日	月	年	時
活動時間	日	月	年	時
参加費負担額	円	角	分	円
指導者人数(名)				
指導者名				
指導者住所				
指導者電話番号				
指導者メールアドレス				

※活動クラブ名称(団体名)は必ずしも「ジュニハイ・ホリメ」に限定されず、活動の「高松市立中学校」にも記載ください。  
 ※「高松市立中学校」は必ず「高松市立中学校」の名称で記載してください。活動の「高松市立中学校」の名称は必ず「高松市立中学校」の名称で記載してください。  
 ※「高松市立中学校」の名称は必ず「高松市立中学校」の名称で記載してください。

貴団体を「ジュニハイ・ホリメ」登録団体として受け付けました。

今年 年 月 日 高松市教育委員会 印

#### 今後の取組における課題

将来、急激な生徒数の減少が見込まれるため、持続可能な取組となるためには、団体数が増えすぎても困る。そのあたりの調整を行っていくことが課題である。

#### 課題への対応方針

生徒のニーズを取り入れつつも、情熱のある運営団体を優先的に登録へと導いていきたい。競技種目が重なる団体同士に関しては、調整会議を開いていく。

#### 取組の成果

本市の方針に賛同し、登録してくれる団体が増えた。

ジュニハイ・ホリメ参加団体：R 7 0団体→R 8 2団体

地域クラブ活動登録団体：R 7 2団体→R 8 4団体

# 2.実証内容と成果

## ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

関係団体との連絡調整は、教育委員会内で分担して受け持ち、統括コーディネーターは置かないこととした。各課での連携を密に取りながら運営団体の整備を行った。

##### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

##### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

いずれも、「地域クラブ活動」として登録する際に提出される「認定要件確認書」において、確認するようにした。

##### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

ジュニハイ・ホリメ参加団体や地域クラブ活動登録団体に関する情報を、リーフレットを用いて生徒に発信した。

高梁市「ジュニハイ・ホリメ」登録団体一覧

高梁市中学校 休日の過ごし方改革

スポーツ版

R7.10.1現在	団体名	種目	詳細
地域クラブ活動 (本人の所属団体)	高梁フットボールクラブ	サッカー	24 25
	高梁地域剣道部	剣道	
	TAKAHASHI United BC	軟式野球	
	Rera Wolves	バスケットボール	
スポーツ少年団 (中学校内の参加団体)	高梁バレーボールアカデミー	バレーボール	
	高梁クライミング少年団	クライミング	
スポーツ協会	高梁ジュニア陸上クラブ	陸上競技	
クラブチーム (県内)			

#### 高梁市「地域クラブ活動」認定要件確認書（案）

以下の項目を確認し、該当箇所にチェックをお願いします。

- 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」及び「高梁市学校部活動の在り方に関する方針」に則った活動である。  
特に、休養日の設定、活動時間については遵守すること
- 生徒の資質・能力の向上を主たる目的とし、以下の項目に重点を置いた活動である。  
・勝敗に過度に偏らない指導  
・安全に配慮した適切な指導  
・保護者、学校への必要に応じた情報共有と連携  
・生徒との適切なコミュニケーション及び集団づくりといじめの防止  
・指導者等による体罰や暴言、ハラスメントの厳禁
- 運営団体の規約等、以下の項目が明記された書面がある。  
・目的 ・役員名簿 ・入退会 ・会費、会計
- 活動中の事故やトラブル等の管理責任を明らかにしており、その際の緊急連絡体制を構築している。
- 指導者や生徒等は、適切な保険に加入（予定可）している。（傷害保険・賠償責任保険等）
- 原則高梁市内において、活動拠点・活動場所を確保している。
- 以下の項目に該当する指導者がいる。  
・生徒の大会参加のための指導者資格を有している。  
※「令和2年度全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例競技部編用」等参照  
・県が主催する指導者講習会等を受講している。

全項目にチェックが入った場合のみ、「地域クラブ活動」として認定し、補助金交付対象とします。

補助金の交付を申請する場合は、「高梁市〇〇補助金交付申請書」を担当課に提出してください。  
スポーツ団体の場合：高梁市教育委員会スポーツ振興課  
文化芸術団体の場合：高梁市教育委員会社会教育課  
※令和2年度より事業実施予定

貴団体を「地域クラブ活動」認定団体として受け付けました。

令和 年 月 日 高梁市教育委員会 印

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

「ジュニハイ・ホリメ」登録団体については、地域での多様な体験や様々な世代との豊かな交流等を目的とし、とにかく生徒と楽しく活動できる団体を数多く確保する。習い事と同じ感覚であるため、質については問わない。

「地域クラブ活動」登録団体については、「認定要件確認書」において指導者の質の担保を図る。指導の重点の確認や研修の義務づけ、指導者資格の有無等を条件とする。

##### 取組の成果

人材バンクへの登録という形式ではなく、「認定要件確認書」において、人材を把握することで指導者の質の担保が図れた。特に、学校部活動の教育的意義や役割を継承し、国の示す「ガイドライン」や県の示す「方針」に則って活動し、中体連等の大会参加を前提とするものとしたので、生徒の資質能力の向上を主たる目的とした指導をしていただけた。

##### 今後の取組における課題

現在登録いただいている「地域クラブ活動」の指導者については、スポーツ少年団の指導をしていたり、教員であったりの方がほとんどであるので、「認定要件確認書」のみで質の担保は可能であった。しかし、新規に立ち上げる団体が増えてきた場合、書面の確認のみでの質の担保に不安が残ることが課題である。

##### 課題への対応方針

「認定要件確認書」での確認は必須として、定期的に活動の様子を視察に行ったり、市独自の指導者研修の開催を検討したりする。

##### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

本市の方針では、団体の設立→人材バンクへの登録→指導者の派遣・配置という形式はとっていない。地域性もあり、多様な人材を発掘するためには、多種多様な既存団体を「地域クラブ活動」へと誘導することで、自然と指導者の発掘につながる形式で取り組んだ。本市にとっては、この形式が持続可能な取組であると考えている。

##### 指導者研修の内容

県主催の指導者研修への参加を義務づけている。

##### 指導者研修受講者の声

特に聴取していない。

##### 指導者の資格取得促進に向けた取組

中体連が各競技ごとに示す資格を取得していなければ、「地域クラブ活動」への登録ができない仕組みにしている。また、JSPO公認のスポーツコーチ等の案内など、情報提供に努めている。

##### 平日・休日の一貫指導に関する取組

平日の部活動は、あくまでも生徒の選択肢の一つとして捉え、中体連の大会へは「地域クラブ活動」から参加するため、指導の一貫性については「地域クラブ活動」側には求めている。ただ、生徒の頑張りなどの情報を提供するような連携については、今後強化していく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

昨年度から引き続き、スポーツ関係団体等との連携を強化するため、さまざまな団体の総会に出席し「ジュニハイ・ホリメ」についての説明を行ったり、個別に交渉を行った。また、「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会を開催した。

##### 取組の成果

各団体には概ね賛同をいただき、指導者を派遣するという形ではなく、あくまでも今ある団体に生徒を受け入れる、無報酬での活動という形をご理解いただくことができた。また、「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会では、各分野との合意形成が図られ、連携を強化することができた。

「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会参加者

区分	役職
学識経験者	吉備国際大学准教授
オブザーバー	地域スポーツクラブ指導者
中学校長代表	中体連高梁支部長（中学校長）
部活動顧問代表	中体連高梁支部理事長（中学校教諭）
PTA代表	高梁市PTA連合会会長（小学校保護者）
PTA代表	高梁市PTA連合会副会長（中学校保護者）
スポーツ団体代表	（一社）高梁市スポーツ協会会長
スポーツ団体代表	高梁市スポーツ少年団本部副本部長
文化芸術団体代表	高梁市文化連盟会長
文化芸術団体代表	高梁市公民館連絡協議会会長
ボランティア団体代表	（福）高梁市社会福祉協議会事務局長

##### 今後の取組における課題

引き続き、関係団体と顔をつきあわせて話ができる場に出向いていくことが必要となる。また、「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会も、少なくとも年1回は開催していく。教育委員会の担当者が変わっていくなかで、うまく引き継いでいけるのが課題となる。

##### 課題への対応方針

教育委員会内の年度末移動の際、関係団体を交えた引継を行う。

##### 地域公共交通との連携に関する取組

地域公共交通の運行ダイヤや運賃が、生徒が利用できるものかについて教育委員会内で協議したが、申し入れまでは行えないものと判断した。

##### 関係団体等との連携に関するスポーツ推進委員の取組

##### まちづくりと連携した取組

ともに情報提供のみを行っているが、現時点では連携できる目処はたっていない。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

##### 市区町村等を越えた取組

「地域クラブ活動」への参加者の条件を高梁市在住の生徒と限定せず、広く近隣市町の生徒を受け入れる体制を整えた。

##### 取組の成果

高梁 F C では、近隣の市町からも参加する生徒が出ている。

##### 今後の取組における課題

近隣の市町へも本市の方針を周知し、受入を行っていることを P R したい。また、逆のルートについても、本市で P R していきたい。

##### 課題への対応方針

まずは近隣の市町の担当者と話し合いの機会をもち、広域で盛り上げていけるように提案する。単市では作れない競技・分野等を近隣でカバーするという意識をもつ。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

##### 取組の成果

「地域クラブ活動」登録団体としては、昨年度の「サッカー」「剣道」に続き、本年度に2つ追加確保することができた。そのうち1つは、市内の部活動には1つの学校にしかない種目の「バスケットボール」である。このことにより、今までは市内中心部の生徒しか取り組めなかった「バスケットボール」に全中学校の生徒が取り組めることにつながった。また、「軟式野球」についても、今までは合同チームなどを組んで練習していたため、多くの制限がかかっていたが、一つにまとまったことで練習の幅が広がったり、一体感をもったりすることができるようになった。

その他のジュニハイ・ホリメ参加団体も確実に増えてきている。1つの中学校にしか設置がない「陸上競技」や新種目である「クライミング」が参加しており、引き続き内容の充実を図っていきたい。

##### 今後の取組における課題

次年度には、新たに「バレーボール」「卓球」が追加される予定である。現時点では、既存部活動にはない種目は「ソフトテニス」だけとなった。団体が多く出来すぎてしまうことには調整をかけなければならないが、生徒のニーズに合わせて内容を充実していくという視点も必要となる。

##### 課題への対応方針

「ソフトテニス」は市内生徒の競技人口も多い種目であるので、現在行っている生徒へのニーズ調査の結果もふまえながら、競技関係団体への働きかけを行っていきたい。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組

## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

#### 取組事項

本市の取組は「休日の過ごし方改革」であり、生徒が参加することは任意であるため、参加費用については、受益者負担を原則とした。財政上の理由から指導者への報酬は支払われないが、それでも登録団体は熱意をもって指導してくださっている。そこで、「地域クラブ活動」登録団体へ補助金を交付することで、間接的に参加費が安価に設定できるような仕組み作りを行った。



#### 取組の成果

#### 今後の取組における課題

補助金交付のための要綱づくり、予算要求ができた。現時点では、単市の持ち出しであるので、充当できる財源を探していくことが今後の課題となる。

#### 課題への対応方針

国庫補助やその他の助成金制度を積極的に取りに行く。

#### 収支バランス

#### 持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

団体運営は、それぞれの団体をお願いしているので、収支バランスやその他の試算については行っていない。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

##### 学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

##### 用具使用・管理等における取組

「地域クラブ活動」登録団体へは、優先的に学校施設が利用できたり、使用料の減免が受けられたりできる仕組みづくりを目指す。「学校の先生が関与しない形での鍵の開閉について検討する」としてはいたが、具体的な検討はできなかった。ただ、本市の「地域クラブ活動」団体は、すでに学校施設や市有スポーツ施設を利用していたこともあり、優先的には利用できている状態である。

##### 取組の成果

具体的な検討はできなかったが、既存団体を活かした取組であるのと、現時点では団体数も少ないため、大きな混乱はなかった。

##### 今後の取組における課題

今後、団体数が増えてきた場合、優先利用については課題となってくると考えている。また、鍵や用具使用・管理等については、まだまだ検討が必要である。

##### 課題への対応方針

団体が増えてきた場合は、施設使用の調整会議等を開催していきたい。鍵については、キーボックスの設置で対応していきたい。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

昨年度からの内容を引き続き充実させていく取組ができた。本市の取組方針に賛同してくれる団体が増え、ジュニアハイ・ホリメ参加団体、地域クラブ活動登録団体がともに2つずつ増えた。

また、昨年度から検討を重ねてきた補助金制度の目処が立ったことも大きい。このことにより、受益者負担を原則とした制度設計の基礎が固まった。

そして、昨年度からの一番の課題であった、教職員・生徒・保護者への周知を行うことができた。まだまだご理解をいただかなければいけない部分もあるが、このことにより、来年度の秋には、休日の部活動の活動を停止し、地域展開へと進めていけそうである。

その他、移動手段の確保についても検討を行ったが、こちらは厳しい状況である。財政面、費用対効果を考えた時、新しいバス路線の構築は断念せざるを得なかった。

#### ●成果の評価

一番大きな成果としては、教職員・生徒・保護者への周知を行えたことである。それぞれの対象ごとに異なる説明動画を作成し、You tubeで配信を行った。同時に生徒向けのニーズ調査や意見・質問フォームの公開も行い、現在回答集を作成しているところである。



#### ●今後に向けて

生徒・保護者の声を取り入れ、地域が一体となって生徒のスポーツ環境を整えていきたい。「チーム高梁」としての機運を高めていけるよう取り組んでいく。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料

【高梁フットボールクラブ：吉備ケーブルテレビR7.3.25放映】



高梁FCジュニアユース

高梁市を拠点に活動する中学生サッカーチーム



高梁FCジュニアユース

5つの中学校から27人が所属  
昨年の秋に行われた中体連の新人戦で3位に



高梁FCジュニアユース

2023年から新見市や  
吉備中央町からも団員が集まった

【高梁クライミング少年団：岩登りに挑戦】



## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●合同部活動推進委員会メンバー

- ・学識経験者
- ・備北地区中体連関係者
- ・地域指導者代表
- ・スポーツ団体代表者
- ・地域指導者代表
- ・PTA代表

#### ●実施にあたって生じた課題

合同部活動の取組については、ある程度の方角性は示せたが、そこから地域移行につなげていくまでには至らなかった。

#### ●ステークホルダー

- ・市中学校校長会
- ・市教育委員会
- ・総合型スポーツクラブ

#### ●経過

「ジュニハイ・ホリメ」についての説明を行い、趣旨についての理解と協力を仰いだ。

#### ●実施にあたって生じた課題・成果

市中学校校長会については、一定の理解を得たものの、令和6年度中の学校全体への浸透は図れなかった。その他個別にスポーツ関係団体にあたり、「ジュニハイ・ホリメ」に登録していただける団体があった。「地域クラブ活動」への登録も2団体あった。

#### ●ステークホルダー

- ・生徒、保護者、地域住民

#### ●経過

周知用のチラシ作成はできた。YouTubeによる周知ができた。

#### ●実施内容、工夫した点

教育委員会内で合意形成を図ることができた。中学校長会とも協議を重ね、説明動画をネット配信することで、周知を図ることとした。それぞれの対象ごとに内容を変え、特に生徒向けには具体例を加えたもの、保護者向けにはフォローアップ体制を加えたものを作成した。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 平成31年度～

「高梁市中学校部活動を考える会」を設置し、協議・検討を行ってきた。

### 令和3年度

「地域部活動推進事業（国の委託事業）」を受け、軟式野球部で合同部活動を開始

### 令和5年度

バレーボール部会において、合同部活動の取組を推進するも、検討のみで終わり、具体的な動きは出せなかった。

### 令和7年度

高梁市の「ジュニハイ・ホリメ」の取組を市内学校や生徒、保護者、地域、関係団体に周知することを徹底する。多種多様な活動が選択肢として選べるよう、受け皿団体の確保に努める。

H31～R3

合同部活動の取組

R4

委員会設置、検討開始

R5

部会の開催

R6

市としての方針の転換  
関係団体との調整

R7

生徒、保護者への周知  
地域クラブ活動登録団体の確保

R8～

地域クラブ活動の本格始動

### 令和4年度

「高梁市立中学校合同部活動推進委員会」を設置し、協議・検討を開始した。部会を競技（部活動の既存種目）ごとに設置し、地域移行に向けた具体策を検討していくことを決定した。合同部活動の取組は、軟式野球のみ。

### 令和6年度

合同部活動の取組が、そのまま地域移行につながりそうにないことから、方針転換を行った。関係団体へ趣旨を伝え、同意してくれる団体に「地域クラブ活動」団体として登録してもらうなど、活動の広がりがあった。

### 令和8年度～

秋以降の休日の地域展開への完全移行を目指す。それに伴い、平日についても同様に進めていくことを検討・実施していく。

**令和7年度**

# 文化部活動改革（部活動の地域移行に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

## 岡山県高梁市

自治体名：岡山県高梁市

担当課名：高梁市教育委員会こども教育課

電話番号：0866-21-1508

# 1.自治体の基本情報

面積	546.99km <sup>2</sup>
人口	25, 280人
公立中学校数	6校
公立中学校生徒数	520人
部活動数 (文化部活動のみ)	1部活
地域クラブ活動数	3クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	未設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

国の方針をうけ、高梁市の学校部活動の現状を分析すると、以下のような課題が整理された。

- ・団体競技において、単独校ではチームが組めない状況が多くあり、今後は更に厳しい状況が続く。
- ・小規模校においては、選択できるスポーツ（運動部）が限定的で、やりたいスポーツができない。
- ・市内全体で、文化芸術活動（文化部）ができる部活動は一つだけであり、ニーズに応えられていない。
- ・小学校年代まで親しんでいたスポーツ（スポ少など）から離れる場合も多い。
- ・学校の先生は指導経験のないスポーツ・文化活動を教えることもあり、長時間勤務の要因にも・・・。

そこで、部活動の地域展開という目的をふまつつも、もっと大きな枠で事業を推進することとし、前向きなキャッチコピー「ジュニハイ・ホリメ」と名付けた、中学校生徒の「休日の過ごし方改革」を前面に押し出した事業方針を打ち出し、取り組んできている。

本事業の核としては、生徒がスポーツ・文化芸術活動・ボランティア活動等、多種多様な活動に継続して親しむことができる機会を確保し、環境の整備を行うことである。また、地域での多様な体験や様々な世代との豊かな交流等を通じた学びや家族との時間の見直し等、休日の過ごし方の新しい価値を創出することである。そのため、既存団体を活かし、そこに生徒を誘導していくという取組を目指しているところである。

ただ、下記のグラフからも分かるように、本市の10年後の生徒数は半数近く減少するため、持続可能な取組となるような制度設計を行っていくことが大切である。あた、本取組では、休日の部活動の廃止も視野に入れているため、生徒や学校、保護者の理解を得ながら進めていく必要もある。そのためにも、前向きに捉えてもらうための周知方法を考えたり、受け皿団体の獲得による環境整備をしていったりすることが課題となる。

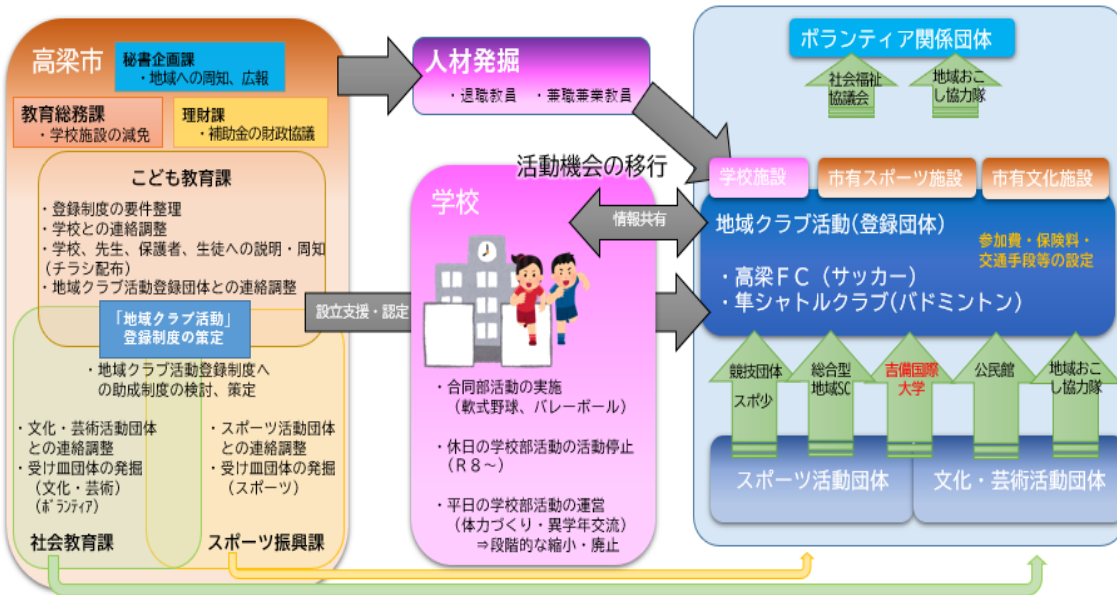
学校名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
高梁中	272	269	271	247	257	260	245	213	192			
高梁東中	32	29	20	18	16	14	15	15	18			
高梁北中	48	36	27	25	24	19	17	13	10			
成羽中	85	85	95	91	102	98	94	74	70			
川上中	34	34	33	30	30	28	31	27	30			
有漢学園	49	55	70	70	60	42	44	42	40			
<b>合計人数</b>	<b>520</b>	<b>508</b>	<b>516</b>	<b>481</b>	<b>489</b>	<b>461</b>	<b>446</b>	<b>384</b>	<b>360</b>	<b>336</b>	<b>329</b>	<b>283</b>
中1	196	159	165	157	167	137	142	105	113	118	98	67
中2	165	196	159	165	157	167	137	142	105	113	118	98
中3	172	165	196	159	165	157	167	137	142	105	113	118

再編による人数変動については加味していない。

# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●市区町村における推進体制図



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

##### 【こども教育課】

・登録制度の要件整理 ・学校との連絡調整 ・学校、先生、保護者、生徒への説明・周知 (チラシ配布) ・地域クラブ活動登録団体との連絡調整

##### 【社会教育課】

・地域クラブ活動登録制度への助成制度の検討、策定  
・スポーツ活動団体との連絡調整 ・受け皿団体の発掘 (文化・芸術)

#### ◎首長部局

【秘書企画課】 ・地域への周知、広報

## 年間の事業スケジュール

令和7年4月	中学校長会との検討
令和7年6月	第1回「学校部活動(主として休日)の地域展開」検討会議
令和7年7月	「高梁市立中学校部活動の地域移行(展開)」懇談会の開催
令和7年9月	第2回「学校部活動(主として休日)の地域展開」検討会議 ・補助金制度について
令和7年11月	教職員向け説明動画の配信
令和8年1月	児童生徒・保護者向け説明動画の視聴・配信
随時	「ジュニハイ・ホリメ」「地域クラブ活動」登録への呼びかけ・登録認定
随時	各文化芸術団体との打合せ
随時	移動手段や減免措置等についての検討

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		3クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		0クラブ（0部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		3クラブ
全体の指導者数	7人	全体の運営スタッフ数	把握なし

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
Sketch (スケッチ)	一般社団法人	地域活動サークル (やりたいを実現する!)	週1回 (毎週水曜) 不定期イベント等 (休日)	放課後	中学生 2年9人	4月～3月	2人	2人	500円 /月	各種イベント
高梁少年少女合唱団	×××××	合唱	週1回 (毎週土曜)	14時～16時	××××× ××××× ×××××	4月～3月	2人	2人	×××円 /年額 (など)	各種イベント
ミンティア	×××××	ダンス	週1回 (毎週金曜) 不定期イベント等 (休日)	16時半～	××××× ××××× ×××××	4月～3月	3人	3人	×××円 /年額 (など)	各種イベント

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

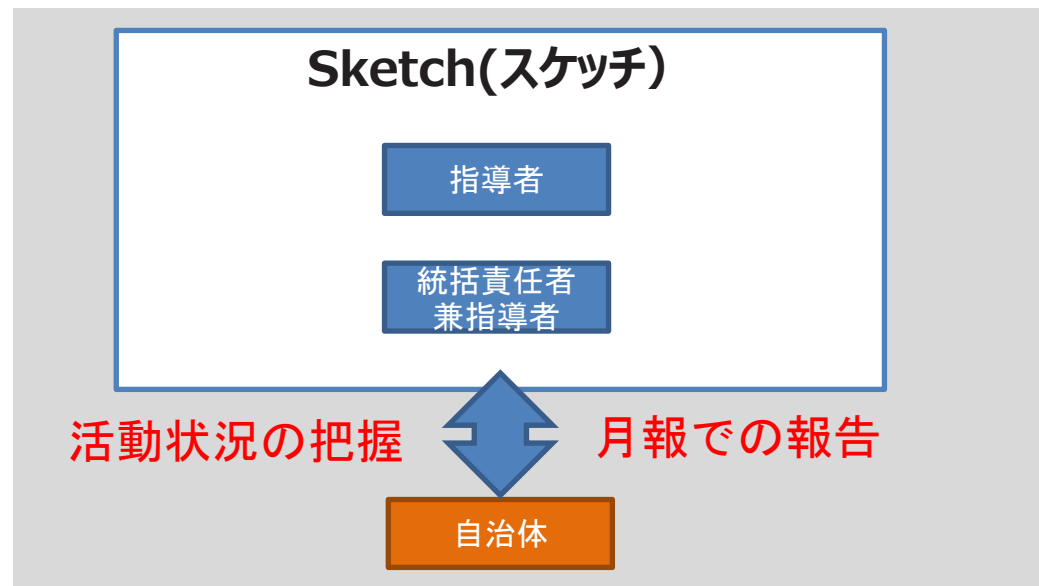
- 特になし

## 2.実証内容と成果

### ● Sketch(スケッチ) 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	神楽、お菓子作り・販売等
運営団体名	(一社) みちくさコミュニティデザイン
期間と日数	4月～翌3月 月4回程度
指導者の主な属性	元地域おこし協力隊員
活動場所	みちくさワークスペース
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等(年額)	月500円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ● 地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



### ● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 自治体  
役割：月報を確認し、活動状況を把握する
- 統括責任者  
役割：月報を作成し、自治体へ報告を行う
- 指導者 2名  
役割：生徒と一緒に計画をたて、一緒に活動を行う

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

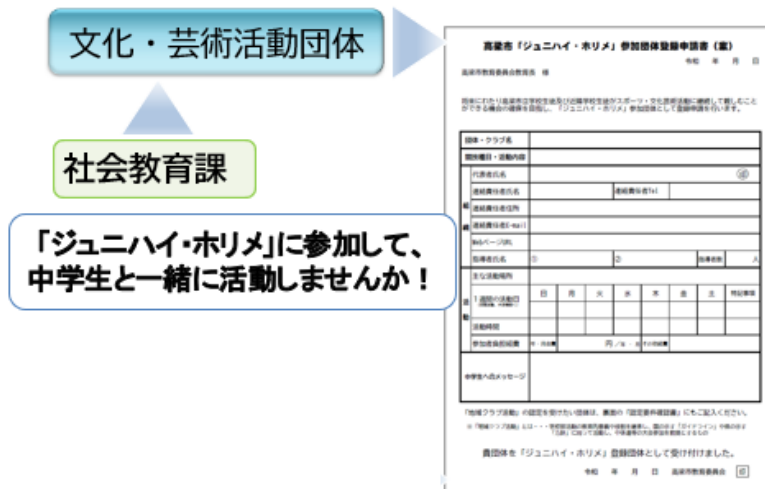
ク：その他の取組

## 取組内容

### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

今までの関係性を活かして、個別に公民館関係者や文化芸術団体指導者等へ声掛けを行う。声掛けは社会教育課が、登録作業は、こども教育課が担う。



#### 今後の取組における課題

将来、急激な生徒数の減少が見込まれるため、持続可能な取組となるためには、団体数が増えすぎても困る。そのあたりの調整を行っていくことが課題である。

#### 課題への対応方針

生徒のニーズを取り入れつつも、情熱のある運営団体を優先的に登録へと導いていきたい。競技種目が重なる団体同士に関しては、調整会議を開いていく。

#### 取組の成果

本市の方針に賛同し、登録してくれる団体が増えた。

ジュニハイ・ホリメ参加団体：R 7 2団体→R 8 2団体

地域クラブ活動登録団体：R 7 1団体→R 8 3団体

# 2.実証内容と成果

## ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組

### 取組内容

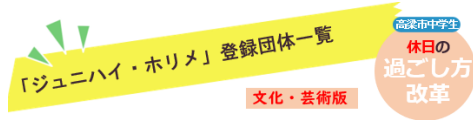
#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

関係団体との連絡調整は、教育委員会内で分担して受け持ち、統括コーディネーターは置かないこととした。各課での連携を密に取りながら運営団体の整備を行った。

##### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

ジュニハイ・ホリメ参加団体や地域クラブ活動登録団体に関する情報を、リーフレットを用いて生徒に発信した。



R7.10.1現在	団体名	内容	詳細
地域クラブ活動 (市への登録団体)	Sketch (地域活動サークル)	興味のあること	※
	高梁少年少女合唱団	合唱	
	ミンティア	ダンス	
	手話サークルはたる	手話	
	湯野子供神楽育成会	備中神楽	
	備中太鼓	太鼓演奏	
	うかん一線の家	絵手紙	
文化団体 (中学生年代の参入団体)	郷土史を学ぶ会	郷土史研究	
	なかよし会	銭太鼓・傘踊り	
	備中神楽同好会	備中神楽	
	有楽フルーツクラブ	フルーツ演奏	

##### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

##### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

いずれも、「地域クラブ活動」として登録する際に提出される「認定要件確認書」において、確認するようにした。

**高梁市「地域クラブ活動」認定要件確認書(案)**

以下の項目を確認し、該当箇所にチェックをお願いします。

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」及び「岡山県学校部活動の在り方に關する方針」に則った活動である。  
\*特に、休業日の設定、活動時間については遵守すること

生徒の資質・能力の向上を主たる目的とし、以下の項目に重点を置いた活動である。  
\* 勝敗に過度に備わない指導  
\* 安全に配慮した適切な指導  
\* 保護者、学校への必要に応じた情報共有と連携  
\* 生徒との適切なコミュニケーション及び集団づくりといじめの防止  
\* 指導者等による体罰や暴言、ハラスメントの厳禁

運営団体の規約等、以下の項目が明記された書面がある。  
\* 目的 ・ 役員名簿 ・ 入退会 ・ 会費、会計

活動中の事故やトラブル等の管理責任を明らかにしており、その際の緊急連絡体制を構築している。

指導者や生徒等は、適切な保険に加入(予定可)している。(傷害保険・賠償責任保険等)

原則高梁市内において、活動拠点・活動場所を確保している。

以下の項目に該当する指導者がいる。  
\* 生徒の大会参加のための指導者資格を有している。  
\* ※「令和〇年度全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例競技部編用」等参照  
\* 県が主催する指導者講習会等を受講している。

全項目にチェックが入った場合のみ、「地域クラブ活動」として認定し、補助金交付対象とします。

補助金の交付を申請する場合は、「高梁市〇〇補助金交付申請書」を担当課に提出してください。  
スポーツ団体の場合：高梁市教育委員会スポーツ振興課  
文化芸術団体の場合：高梁市教育委員会社会教育課  
※令和〇年度より事業実施予定

貴団体を「地域クラブ活動」認定団体として受け付けました。

令和 年 月 日 高梁市教育委員会 [印]

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

「ジュニハイ・ホリメ」登録団体については、地域での多様な体験や様々な世代との豊かな交流等を目的とし、とにかく生徒と楽しく活動できる団体を数多く確保する。習い事と同じ感覚であるため、質については問わない。

「地域クラブ活動」登録団体については、「認定要件確認書」において指導者の質の担保を図る。指導の重点の確認や研修の義務づけ、指導者資格の有無等を条件とする。

##### 取組の成果

人材バンクへの登録という形式ではなく、「認定要件確認書」において、人材を把握することで指導者の質の担保が図れた。特に、学校部活動の教育的意義や役割を継承し、国の示す「ガイドライン」や県の示す「方針」に則って活動し、発表会や地域イベント等への参加を前提とするものとしたので、生徒の資質能力の向上を主たる目的とした指導をしていただけた。

##### 今後の取組における課題

現在登録いただいている「地域クラブ活動」の指導者については、すでに地域で指導している方がほとんどであるので、「認定要件確認書」のみで質の担保は可能であった。しかし、新規に立ち上げる団体が増えてきた場合、書面の確認のみでの質の担保に不安が残ることが課題である。

##### 課題への対応方針

「認定要件確認書」での確認は必須として、定期的に活動の様子を視察に行ったり、市独自の指導者研修の開催を検討したりする。

##### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

本市の方針では、団体の設立→人材バンクへの登録→指導者の派遣・配置という形式はとっていない。地域性もあり、多様な人材を発掘するためには、多種多様な既存団体を「地域クラブ活動」へと誘導することで、自然と指導者の発掘につながる形式で取り組んだ。本市にとっては、この形式が持続可能な取組であると考えている。

##### 指導者研修の内容

県主催の指導者研修への参加を義務づけている。

##### 指導者研修受講者の声

特に聴取していない。

##### 指導者の資格取得促進に向けた取組

特に行っていない。

##### 平日・休日の一貫指導に関する取組

平日の部活動は、あくまでも生徒の選択肢の一つとして捉え、発表会や地域イベントへは「地域クラブ活動」から参加するため、指導の一貫性については「地域クラブ活動」側には求めていない。ただ、生徒の頑張りなどの情報を提供するような連携については、今後強化していく必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

昨年度から引き続き、文化芸術関係団体等との連携を強化するため、さまざまな団体の会合に出席し「ジュニハイ・ホリメ」についての説明を行ったり、個別に交渉を行った。また、「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会を開催した。

##### 取組の成果

各団体には概ね賛同をいただき、指導者を派遣するという形ではなく、あくまでも今ある団体に生徒を受け入れる、無報酬での活動という形をご理解いただくことができた。また、「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会では、各分野との合意形成が図られ、連携を強化することができた。

「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会参加者

区分	役職
学識経験者	吉備国際大学准教授
オブザーバー	地域スポーツクラブ指導者
中学校長代表	中体連高梁支部長（中学校長）
部活動顧問代表	中体連高梁支部理事長（中学校教諭）
PTA代表	高梁市PTA連合会会長（小学校保護者）
PTA代表	高梁市PTA連合会副会長（中学校保護者）
スポーツ団体代表	（一社）高梁市スポーツ協会会長
スポーツ団体代表	高梁市スポーツ少年団本部副本部長
文化芸術団体代表	高梁市文化連盟会長
文化芸術団体代表	高梁市公民館連絡協議会会長
ボランティア団体代表	（福）高梁市社会福祉協議会事務局長

##### 今後の取組における課題

引き続き、関係団体と顔をつきあわせて話ができる場に出向いていくことが必要となる。また、「高梁市立中学校部活動の地域移行（展開）」懇談会も、少なくとも年1回は開催していく。教育委員会の担当者が変わっていくなかで、うまく引き継いでいけるのが課題となる。

##### 課題への対応方針

教育委員会内の年度末移動の際、関係団体を交えた引継を行う。

##### 地域公共交通との連携に関する取組

地域公共交通の運行ダイヤや運賃が、生徒が利用できるものかについて教育委員会内で協議したが、申し入れまでは行えないものと判断した。

##### 関係団体等との連携に関する取組

##### まちづくりと連携した取組

ともに情報提供のみを行っているが、現時点では連携できる目処はたっていない。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### 取組事項

#### 市区町村等を越えた取組

「地域クラブ活動」への参加者の条件を高梁市在住の生徒と限定せず、広く近隣市町の生徒を受け入る体制を整えた。

#### 取組の成果

高梁少年少女合唱団やミンティアでは、近隣の市町からも参加する生徒が出ている。

#### 今後の取組における課題

近隣の市町へも本市の方針を周知し、受入を行っていることをPRしたい。また、逆のルートについても、本市でPRしていきたい。

#### 課題への対応方針

まずは近隣の市町の担当者と話し合いの機会をもち、広域で盛り上げていけるように提案する。単市では作れない競技・分野等を近隣でカバーするという意識をもつ。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

##### 取組の成果

「地域クラブ活動」登録団体としては、昨年度の「Sketch（スケッチ）」に続き、本年度に2つ追加確保することができた。2つとも、市内の部活動にはない内容である。既存の団体ではあるが、高梁市の中心部で活動している団体を広く全地域に広報することで、生徒の選択肢の幅が広がるものと考えている。ニーズ調査によると、「ミンティア（ダンス）」に入りたい生徒も多く、今後の期待がもてる。また、「高梁少年少女合唱団」については、高梁市は「童謡のまち」としてPRしていることもあり、こちらにも興味を示している生徒がいるところである。

その他のジュニハイ・ホリメ参加団体については、昨年度から増やすことはできなかったが、働きかけを行っていききたい。

##### 今後の取組における課題

団体が多く出来すぎてしまうことには調整をかけなければならないが、生徒のニーズに合わせて内容を充実していくという視点も必要となる。現時点では、美術関係のニーズがあり、吹奏楽は少ない状況である。

##### 課題への対応方針

現在行っている生徒へのニーズ調査の結果もふまえながら、文化芸術関係団体への働きかけを行っていききたい。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組

## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

#### 取組事項

本市の取組は「休日の過ごし方改革」であり、生徒が参加することは任意であるため、参加費用については、受益者負担を原則とした。財政上の理由から指導者への報酬は支払われないが、それでも登録団体は熱意をもって指導してくださっている。そこで、「地域クラブ活動」登録団体へ補助金を交付することで、間接的に参加費が安価に設定できるような仕組み作りを行った。



#### 取組の成果

#### 今後の取組における課題

補助金交付のための要綱づくり、予算要求ができた。現時点では、単市の持ち出しであるので、充当できる財源を探していくことが今後の課題となる。

#### 課題への対応方針

国庫補助やその他の助成金制度を積極的に取りに行く。

#### 収支バランス

#### 持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

団体運営は、それぞれの団体をお願いしているので、収支バランスやその他の試算については行っていない。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

##### 学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

##### 用具使用・管理等における取組

「地域クラブ活動」登録団体へは、優先的に学校施設が利用できたり、使用料の減免が受けられたりできる仕組みづくりを目指す。「学校の先生が関与しない形での鍵の開閉について検討する」としてはいたが、具体的な検討はできなかった。ただ、本市の「地域クラブ活動」団体は、すでに既存施設を確保・利用していたこともあり、優先的には利用できている状態である。

##### 取組の成果

具体的な検討はできなかったが、既存団体を活かした取組であるのと、現時点では団体数も少ないため、大きな混乱はなかった。

##### 今後の取組における課題

今後、団体数が増えてきた場合、優先利用については課題となってくると考えている。また、鍵や用具使用・管理等については、まだまだ検討が必要である。

##### 課題への対応方針

団体が増えてきた場合は、施設使用の調整会議等を開催していきたい。鍵については、キーボックスの設置で対応していきたい。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

昨年度からの内容を引き続き充実させていく取組ができた。本市の取組方針に賛同してくれる団体が増え、ジュニアハイ・ホリメ参加団体は増やすことができなかったが、地域クラブ活動登録団体を2つ増やすことができた。

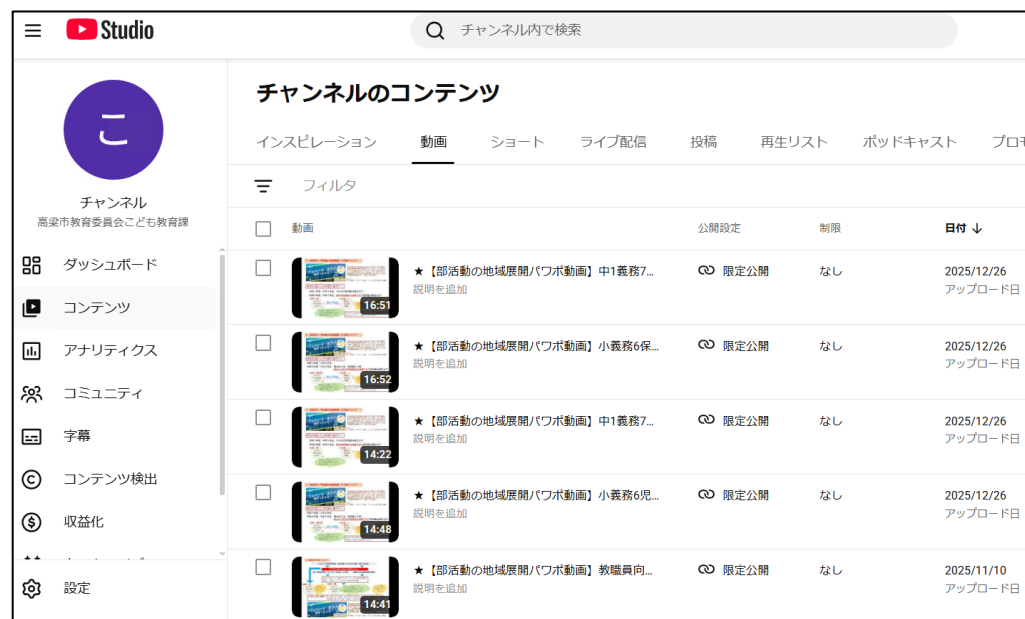
また、昨年度から検討を重ねてきた補助金制度の目処が立ったことも大きい。このことにより、受益者負担を原則とした制度設計の基礎が固まった。

そして、昨年度からの一番の課題であった、教職員・生徒・保護者への周知を行うことができた。まだまだご理解をいただかなければいけない部分もあるが、このことにより、来年度の秋には、休日の部活動の活動を停止し、地域展開へと進めていけそうである。

その他、移動手段の確保についても検討を行ったが、こちらは厳しい状況である。財政面、費用対効果を考えた時、新しいバス路線の構築は断念せざるを得なかった。

#### ●成果の評価

一番大きな成果としては、教職員・生徒・保護者への周知を行えたことである。それぞれの対象ごとに異なる説明動画を作成し、You tubeで配信を行った。同時に生徒向けのニーズ調査や意見・質問フォームの公開も行い、現在回答集を作成しているところである。



The screenshot shows the YouTube Studio interface for a channel named '高梁市教育委員会子ども教育課'. The 'チャンネルのコンテンツ' (Channel Content) tab is active, displaying a list of videos. The table below summarizes the visible content:

動画	公開設定	制限	日付 ↓
★【部活動の地域展開パワポ動画】中1義務7... 説明を追加	限定公開	なし	2025/12/26 アップロード日
★【部活動の地域展開パワポ動画】小義務6保... 説明を追加	限定公開	なし	2025/12/26 アップロード日
★【部活動の地域展開パワポ動画】中1義務7... 説明を追加	限定公開	なし	2025/12/26 アップロード日
★【部活動の地域展開パワポ動画】小義務6児... 説明を追加	限定公開	なし	2025/12/26 アップロード日
★【部活動の地域展開パワポ動画】教職員向... 説明を追加	限定公開	なし	2025/11/10 アップロード日

#### ●今後に向けて

生徒・保護者の声を取り入れ、地域が一体となって生徒の文化芸術環境を整えていきたい。「チーム高梁」としての機運を高めていけるよう取り組んでいく。

## 2.実証内容と成果③

### 参考資料

#### 【地域活動サークルSketch : インスタグラムより】



#### 【高梁少年少女合唱団 : インスタグラムより】



## 2.実証内容と成果④

### 地域スポーツ活動の活動施設実施に至るまでの意識形成プロセス

平成31年～

委員会設置、  
検討開始

令和6年

方針の策定  
地域クラブ活動  
の開始

関係団体、学  
校現場との調  
整

令和7年～

生徒、保護者、  
地域への説明

休日の地域クラ  
ブ活動の拡大  
平日の地域クラ  
ブ活動の開始

令和12年～

平日の地域クラ  
ブ活動の拡大

#### ●合同部活動推進委員会メンバー

- ・学識経験者
- ・備北地区中体連関係者
- ・地域指導者代表
- ・スポーツ団体代表者
- ・地域指導者代表
- ・PTA代表

#### ●実施にあたって生じた課題

合同部活動の取組については、ある程度の方角性は示せたが、そこから地域移行につなげていくまでには至らなかった。

#### ●ステークホルダー

- ・市中学校校長会
- ・市教育委員会
- ・市文化協会

#### ●経過

「ジュニハイ・ホリメ」についての説明を行い、趣旨についての理解と協力を仰いだ。

#### ●実施にあたって生じた課題・成果

市中学校校長会については、一定の理解を得たものの、令和6年度中での学校全体への浸透は図れなかった。

「地域クラブ活動」への登録が2団体あった。

#### ●ステークホルダー

- ・生徒、保護者、地域住民

#### ●経過

周知用のチラシ作成はできた。YouTubeによる周知ができた。

#### ●実施内容、工夫した点

教育委員会内で合意形成を図ることができた。中学校長会とも協議を重ね、説明動画をネット配信することで、周知を図ることとした。それぞれの対象ごとに内容を変え、特に生徒向けには具体例を加えたもの、保護者向けにはフォローアップ体制を加えたものを作成した。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

**平成31年度～**  
「高梁市中学校部活動を考える会」を設置し、協議・検討を行ってきた。

**令和3年度**  
「地域部活動推進事業（国の委託事業）」を受け、軟式野球部で合同部活動を開始

**令和5年度**  
バレーボール部会において、合同部活動の取組を推進するも、検討のみで終わり、具体的な動きは出せなかった。

**令和7年度**  
高梁市の「ジュニハイ・ホリメ」の取組を市内学校や生徒、保護者、地域、関係団体に周知することを徹底する。多種多様な活動が選択肢として選べるよう、受け皿団体の確保に努める。

H31～R3

R4

R5

R6

R7

R8～

合同部活動の取組

委員会設置、検討開始

部会の開催

市としての方針の転換  
関係団体との調整

生徒、保護者への周知  
地域クラブ活動登録団体の確保

地域クラブ活動の本格始動

**令和4年度**  
「高梁市立中学校合同部活動推進委員会」を設置し、協議・検討を開始した。部会を競技（部活動の既存種目）ごとに設置し、地域移行に向けた具体策を検討していくことを決定した。合同部活動の取組は、軟式野球のみ。

**令和6年度**  
合同部活動の取組が、そのまま地域移行につながりそうにないことから、方針転換を行った。関係団体へ趣旨を伝え、同意してくれる団体に「地域クラブ活動」団体として登録してもらうなど、活動の広がりがあった。

**令和8年度～**  
秋以降の休日の地域展開への完全移行を目指す。それに伴い、平日についても同様に進めていくことを検討・実施していく。

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 岡山県 浅口市

自治体名 : 岡山県浅口市

担当課名 : 学校教育課

電話番号 : 0865-44-7012

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

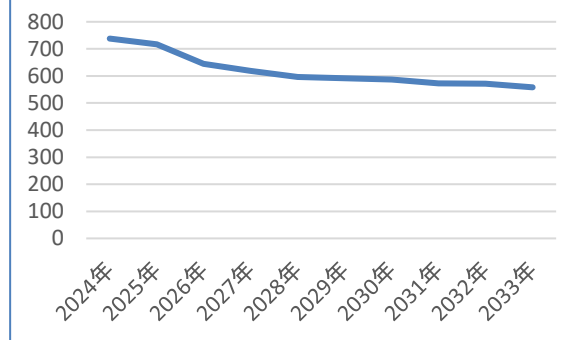
面積	66,46km <sup>2</sup>
人口	32,264人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	718人
部活動数 (運動部活動のみ)	23部活
地域クラブ活動数	7クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済 (検討委員会)
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

浅口市は、平成18年に浅口郡鴨方町、金光町、寄島町が合併して発足した。県内の市としては、面積は最小で、倉敷市や福山市のベッドタウンとなっている。市内には、2つの公立中学校と1つの義務教育学校あり、合わせて718名(令和8年1月)の中学生が在籍している。本市の生徒については、少しずつではあるが、減少している。3中学校の中でも、比較的規模の大きな学校では、部活動の種類が多く、生徒が活動したい部活動を選ぶことができる反面、生

徒数が少ない義務教育学校においては、部活動の選択肢がほとんどないのが現状である。また、市内には小学生を中心に活動しているスポーツ少年団や大人が活動をしているスポーツ協会専門部が多数あるが、指導者の減少や高齢化、あるいは様々な規格の違いを理由に、中学生の受け入れは難しい状況である。

生徒数予想推移



浅口市教育委員会調べ

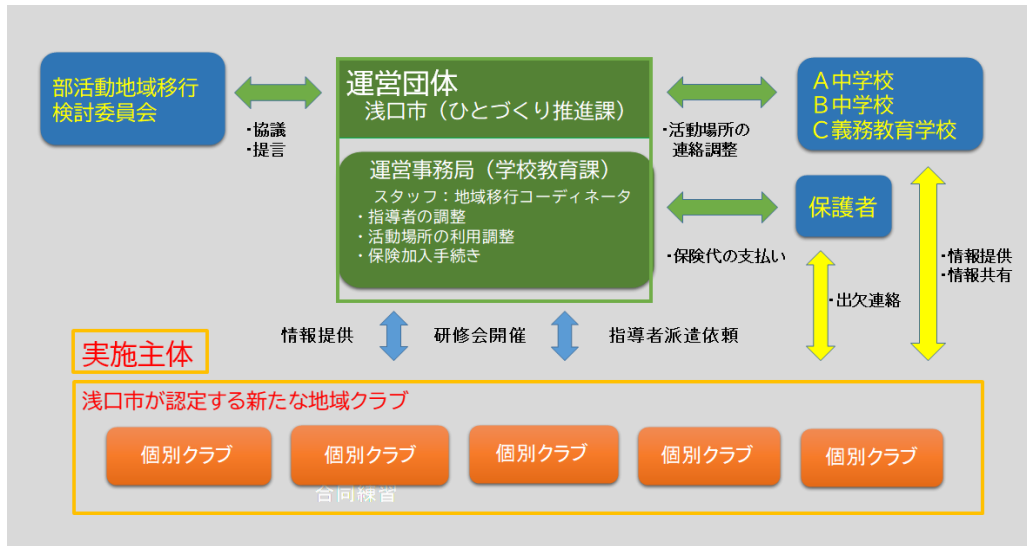


浅口市親睦協会HPより

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・地域クラブと学校との連携・調整 部活動改革の主幹
- ・指導者謝金、消耗品等の支払い、会計業務

##### ◎首長部局

- ・予算措置について
- ・体制整備等について

### 年間の事業スケジュール

- 令和7年5月 部活動顧問に対してアンケートの実施
- 令和7年8月 第1回部活動地域移行検討委員会
- 令和7年11月 スタートアップ支援によるプレ実施  
 1月末まで 月2回程度休日に実施  
 （野球、女子バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス）
- 令和7年11月 第1回体づくり運動（体力向上活動）  
 高校との連携活動の実施
- 令和7年12月 第2回部活動地域移行検討委員会
- 令和8年1月 第2回体づくり運動（体力向上活動）  
 高校との連携活動の実施
- 令和8年2月 第3回部活動地域移行検討委員会

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		7クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		6クラブ（10部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		1クラブ
全体の指導者数	18人	全体の運営スタッフ数	3人

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
浅口野球クラブ	市町村運営型	野球	・休日 2回	9:00～ 12:00	1年 10名 2年 6名	R7.11～ R8.1	4人	3人 (内、兼務3人)	800円 スポーツ安全保険料	練習のみ
浅口バレーボールクラブ	市町村運営型	バレーボール	・休日 2回	9:00～ 12:00	1年 10名 2年 14名	R7.11～ R8.1	4人	3人 (内、兼務3人)	800円 スポーツ安全保険料	練習のみ
鴨方バスケットボール(女子)クラブ	市町村運営型	バスケットボール	・休日 2回	9:00～ 12:00	1年 8名 2年 7名	R7.11～ R8.1	3人	3人 (内、兼務3人)	800円 スポーツ安全保険料	練習のみ
体づくり運動	市町村運営型	体幹トレーニング	・平日 2回	18:00～ 19:15	小学5年 2名 小学6年 4名 中学1年 1名	R7.11.25 R8.1.13	2人	3人 (内、兼務3人)	800円 スポーツ安全保険料	練習のみ

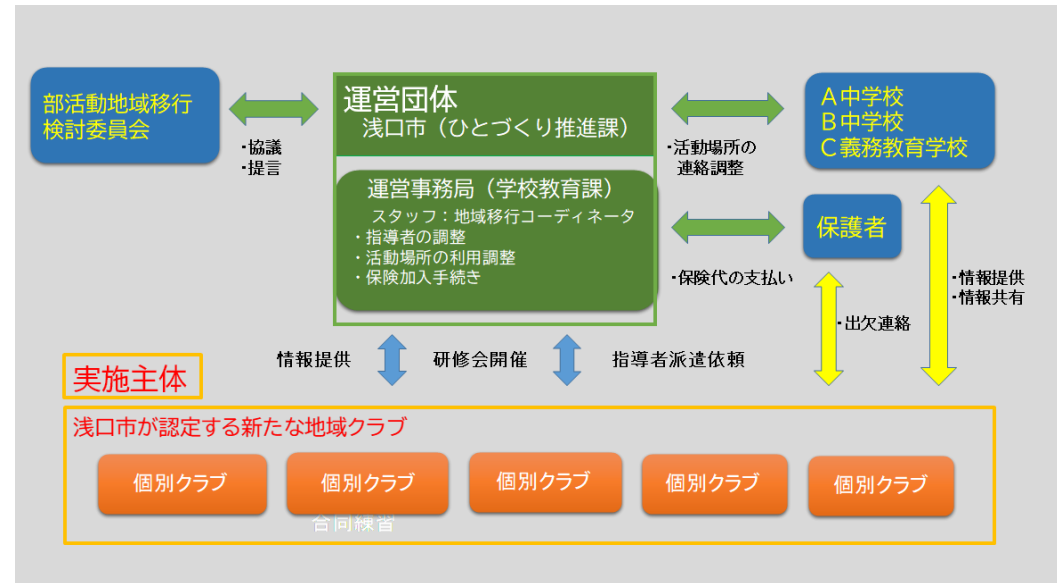
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●浅口野球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	野球
運営団体名	浅口市教育委員会
期間と日数	11月～1月 月2回程度
指導者の主な属性	地域指導者、教員（兼職兼業）
活動場所	公共施設（市営野球場）
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒 800円 指導者 1,850円

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●運営事務局

役割：指導者の確保、参加生徒募集、日程調整、施設の調整を行う

##### ●指導者 4名

役割：活動場所の準備・片付け、用具の準備、生徒の指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 事務局内でも、学校教育課とひとづくり推進課（生涯学習担当課）と連携を密にし、両課が継続的に話し合いの場をもち、学校教育と社会教育両面から取り組みを進められるように取り組んだ。
- 部活動地域移行検討委員会複数回開催し、学校、関係団体、地域の意見を聞きながら、実情にあった地域展開の実現を目指した。
- 市長部局とは、地域クラブを立ち上げた時に実現可能な公的支援等について、検討を重ねた。

##### 取組の成果

○部活動地域移行検討委員会を開催し、学校、関係団体、地域の方から様々な意見を聞くなかで、ロードマップに示している「令和8年新チーム発足時以降、休日の活動は地域クラブとして活動する」を実現するためにクリアすべき様々な課題を、より明確にすることができた。会の中では、今後のあり方についての議論が深まり、参加者全員が自分事として、考える意識が高まってきている。

##### 今後の取組における課題

○市長部局とは、既存のスポーツ少年団に対する補助制度と新たな地域クラブに対する支援策との整合性について問題点を指摘された。また、持続可能な取組にしていくためには、補助金のあり方や実施主体の人材確保についても大きな課題である。また、地域展開後の具体的な業務や対応のイメージが描ききれていない部分もあり、スムーズな運営や支援の拡充が必要である。

##### 課題への対応方針

- 今後は、これまでに明らかとなった課題について具体的な対応策を講じていく予定である。まず、運営団体や実施主体の人材不足については、地域への積極的な募集や広報を進めることで、人材確保に向けて準備を進めていく。
- 市長部局とは、持続可能な組織作りや公的支援策について協議を進めていく必要がある。
- 継続的に検討委員会を実施し、学校や関係団体、地域の意見にしっかりと耳を傾け、課題解決に向けて取り組みを継続していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 中学校の教員に対して、休日の部活動が地域クラブ活動に移行した場合の自身の関わり方についてアンケートを実施。
- 現顧問との懇談を通して、休日の部活動が地域クラブ活動に移行した場合の課題等について聞き取りを行った。
- プレ実施に参加する生徒の保護者への説明会を開催した。
- 地域クラブ活動を巡回し、活動の様子の確認や指導者へのヒアリングを行った。

##### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 地域クラブ活動の指導者や参加者のスポーツ安全保険への加入手続きを代行した。
- 指導者から問題点や課題等を聞き取り、活動で困っている点や心配なことについてなるべく早く解決できるように取り組んだ。
- 活動実施日の連絡や参加者の出欠確認のために、コミュニケーションアプリの活用を紹介した。

##### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 浅口市地域クラブ認定要件を定め、要件を充たしている団体に対してプレ実施を行った。
- 参加者は、スポーツ安全保険への加入を必須とし受益者負担での対応をお願いした。また、指導者全員に教育委員会で保険をかけた。

##### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 本年度のプレ実施団体には、現中学校顧問が地域クラブの指導者として最低1名は参加しているため、活動中の生徒同士のトラブルや事故等が発生した場合は、顧問から保護者、学校、事務局に連絡し、迅速に対応する体制ができていた。今後は、学校の教員がいなくても、トラブルに対応できる体制整備を進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- 市内に既存する全てのスポーツ少年団とスポーツ協会専門部に対して、中学生の指導の依頼を行った。
- 市のホームページに、「地域クラブ設置の準備」と「地域クラブ参加募集」を掲載し、広報をした。
- 指導者とは、個別に話し合いや研修を行い、コンプライアンスの問題や指導のあり方等について指導をした。また、一方的な話にならないように指導者の思いや考えをきくことで、よりよい活動となるように留意した。

##### 取組の成果

- ホームページを見て、地域クラブ活動に興味をもち連絡をして下さった方で、2名の新たな地域指導者を確保することができた。
- 個別で話をするすることで、一方的な話にならずに、様々な話をする事ができ、その方の人となりや考えをしっかりと聞くことができたり、市の状況について話をする事ができたりすることで、状況の理解が深まった。関係性が深まったことにより、指導者を紹介してくれたこともあった。

##### 今後の取組における課題

- 現在、休日に活動している全ての部活動を地域クラブ化するには、指導者の人数が足りていない。
- 指導者の質を上げていくには、継続的で定期的な研修会が必要である。そのためには、早めに日程調整を行い、計画を前もって立てておく必要がある。

##### 課題への対応方針

- 地域クラブ指導者要綱を作成しホームページ等で広報することで、新たな指導者の確保に繋げていく。
- 地域展開についての周知を進めていくことで、地域人材の掘り起こしをすすめて、人材確保を進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- 市内のスポーツ少年団とスポーツ協会専門部に対して、あらためて中学生の指導受け入れの要請をした。
- 疑問点や取組についてなどの意見交換を行い、現在の課題や今後の取組について情報共有を行った。
- 昨年度に引き続き、市内の高等学校と連携し体力向上を目指した活動「体づくり運動」を実施した。

##### 取組の成果

- 昨年度は市内の高等学校の野球部の顧問・生徒に協力をお願いして実施した。今年度は、同じ高等学校のレスリング部の顧問・生徒に協力してもらい「マット運動」を中心に、実施した。参加した児童生徒からは、「専門的なことを教えてもらえた」「高校生と触れ合えて楽しかった」などの好意的な感想が上がった。

##### 今後の取組における課題

- 既存のスポーツ少年団やスポーツ協会専門部からは、指導者の減少や高齢化、あるいは様々な規格の違い等を理由に、中学生の受け入れについて手が上がらなかった。また、部活動の地域展開がどのような形で行われるかの具体的な部分が見えていないのが課題である。

##### 課題への対応方針

- スポーツ少年団やスポーツ協会専門部とは、話し合いを進め中学生の受け入れについて可能性を探っていきたい。
- 広報誌やホームページを利用し、全体への周知を継続していく。
- 地域クラブの具体像をはっきりとさせ、指導者に全体像のイメージをもてるように取り組んでいく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 近隣市町（浅口市・笠岡市・井原市・里庄町・矢掛町）の担当者が集まり、各市町の取組みの現状について情報交換をおこなった。
- 単一の自治体だけでは生徒も指導者も少ない状況であり、他市町との連携の必要性を確認した。

##### 取組の成果

- まずは、各市の担当が集まり、顔合わせをすることで、関係性を構築することができた。
- 他市の状況を共有することで、共通の問題や市ごとの課題がわかった。
- 他市町の生徒も受け入れ可能な地域クラブを紹介する「広域広報紙」を作成することになった。

##### 今後の取組における課題

- 地域クラブ化に向けては、自治体ごとに取り組み状況に大きな隔りがある。地域クラブの立ち上げに至っていない自治体もある。
- どの市町も少子化が進んでおり、単独では、成り立たない団体競技がでてくることが予想される。市町を超えて、生徒を受け入れ、活動できる環境づくりが課題である。

##### 課題への対応方針

- 取り組みが進んでいる自治体の例を参考に、まずは各自治体内に地域クラブを立ち上げる。
- 継続して、情報共有を行い、定期的に課題の整理を行う。
- 市町を越えて生徒を受け入れる仕組みづくりを構築していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

- スタートアップ支援によるプレ実施を6つのクラブで実施した。
- スタートアップ支援の条件としては、令和8年度に向けて新規に中学生を受け入れて活動する団体、市内参加生徒が10名以上集まった団体とした。
- 支援の内容としては、指導者謝金、消耗品の購入、指導者のスポーツ安全保険料、施設の減免などを実施した。

##### 取組の成果

- 市内全部の中学校から100名を超える生徒が参加できた。
- また、競技によっては、市外からも参加する生徒もいた。
- 9名の教員（兼職兼業で参加）に加え、9名の地域指導者が参加し、活動を実施することができた。
- 学校と連携をしながら、活動をすることができた。

##### 今後の取組における課題

- 関係機関との協議や実施する上での様々な調整に手間取り、地域クラブ活動の開始が遅れたことによりプレ実施の期間が短くなってしまった。
- 登録がうまくできていない生徒がおり、事務手続きの仕方や周知の仕方などは課題である。
- 保険代を集金したが、お金の支払い方法についても課題である。

##### 課題への対応方針

- 令和8年新チーム発足時以降に地域クラブ活動をスムーズにスタートさせるために、綿密にスケジュールを立てて関係機関と連携し、取り組みを進めていく。
- プレ実施活動での問題点や改善点を生徒や保護者、指導者から聞き取り、改善していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

- 実証事業の委託金を活用し、指導者謝金、消耗品の購入、指導者のスポーツ安全保険料をまかした。
- 参加生徒には、スポーツ安全保険料を支払ってもらった。

##### 取組の成果

- 今年度は、受益者負担としてはスポーツ安全保険料のみだったため、保護者の理解が得やすかった。

##### 今後の取組における課題

- 次年度、地域クラブ活動を本格実施するにあたっては、指導者謝金や消耗品の購入のために月会費を求めていく必要がある。
- 実際にどれくらいの経費や謝金が必要なのかの試算を行い、例として保護者や指導者に示していく必要がある。

##### 課題への対応方針

- 会費は、各クラブが指導者・保護者と相談し、自由に設定する予定である。可能な限り低廉な月会費になるように、公的支援（市補助金）を求めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 公立中学校の体育館・テニスコート、市内公共施設の体育館・野球場・テニスコートで活動した。
- 地域クラブでの活動については、使用料を減免対応した。

##### 取組の成果

- 全ての施設を減免措置で利用したので、費用を抑えることができた。
- 体育館やグラウンドの使用状況を確認し、別の部活動と地域クラブの使用の調整を行い、各活動がトラブルなく使用できるように準備した。
- 競技によっては、活動場所を1つに固定することなく、中学校の体育館をローテーションすることによって生徒の移動にかかる負担の均等化を図った。

##### 今後の取組における課題

- 公立中学校体育館は、部活動で使用している他競技との調整が必要で、希望の時間帯に利用することができなかった。
- 他団体の利用予約が入っていたため、市内の公共施設を利用することができなかった。

##### 課題への対応方針

- 休日の活動が全て地域クラブになった場合は、年度当初に中学校体育館の使用の割り振りをする必要がある。
- 市内の公共施設を利用する場合も、あらかじめ他団体との調整をしておく必要がある。
- 部活動でグラウンドや体育館を利用する場合と比べて、使用に関わる手続きが煩雑になるので、手続きが簡略化できる方法を検討する。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

実証事業を受託して2年目となるため、昨年度実施できた地域クラブ活動よりは、数を増やし内容を充実させ、持続可能な形になるように体制整備を進めていくことを目標とした。

今年度も、学校、関係団体、地域の代表者による部活動地域移行検討委員会を開催した。その会で、令和8年新チーム発足時以降に、休日の地域展開を目指すとしてロードマップを示し、様々な立場からの意見を聞きながら、実情にあった地域展開の実現を目指した。

また、地域クラブの活動となると、指導者への謝金や消耗品の購入など、保護者に対して受益者負担を求めることは避けられない。少しでも廉価な会費となるように、市長部局とは、地域クラブを立ち上げた時に実現可能な公的支援等について、話し合いを重ねた。

一方で、現状では、休日の活動が地域クラブとなっても、全てのクラブで地域指導者の確保のめどは立っていない。

そのため学校の先生方の協力を仰ぐ必要がある。兼職兼業の手続きをして指導に携わる意思があるかどうかの聞き取りも行った。できるだけ休日の活動が止まることのないように、今後も地域への広報活動を続け、指導者の確保を進めたい。

#### ●成果の評価

昨年度は、該当する部活動に所属する生徒にのみ声をかけ、4クラブが活動し参加生徒数は60名程度であったが、今年度は、市のホームページに、「地域クラブ設置の準備」と「地域クラブ参加募集」を掲載し、ひろく広報をした。

その成果として、高校と連携した活動も含めると、7つのクラブでプレ実施という形で地域クラブ活動を実施することができ、110名以上の生徒が参加できた。また、ホームページを見て、地域クラブ活動に興味をもち連絡をして下さった方で、2名の新たな地域指導者を確保することができた。

活動終了後には、生徒や指導者にアンケートをとることで、取組の検証を行い、来年度以降の地域展開に向けてつなげていきたい。

#### ●今後に向けて

休日の地域展開の本格実施に向けては、受益者負担を求めることから保護者の理解と協力は不可欠である。これから開催される新入生説明会や次年度のPTA総会などで、丁寧に説明し保護者の賛同を得ていきたい。また、ロードマップどおりに進めていくためには、地域クラブ設置要綱、地域クラブ指導者要綱、地域クラブ補助金要綱などを定め、詳細に内容を詰めていく必要と、綿密にスケジュールを立てて「地域クラブ立ち上げの募集」「参加生徒の募集」「指導者説明会」「指導者講習会」などを開催していく必要がある。

公的支援策については、引き続き市長部局と連携をとりながら進めていきたい。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料

【野球】



【ソフトテニス】



## 2.実証内容と成果④

### 参考資料

【男子バスケットボール】



【女子バスケットボール】



【体づくり運動】  
(高校との連携)



【バレーボール】



## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和7年

部活動地域移行検討委員会の開催

●令和6年度から立ち上げた部活動地域移行検討委員会を継続して開催し、協議を進めた。

#### 参加者

地域移行支援アドバイザー、学校長  
PTA代表、学校運営協議会代表  
スポーツ協会・文化連盟・部活動顧問代表  
スポーツ少年団代表等

#### 議事

- ・国の動向や市の現状の確認
- ・令和7年度の取り組みについて提案
- ・令和8年度以降についての見通し

#### 協議内容

・今の現状で、ロードマップに示されている「令和8年新チーム発足時以降は、休日は地域クラブ活動にする」は実現可能かどうか、様々な立場からの懸念点について、意見交換を行った。

実証事業を活用した地域クラブ（プレ実施）への参加の呼びかけ

#### ●受け皿団体や指導者の募集

- ・既存のスポーツ少年団、スポーツ協会、文化協会に中学生の受け入れを依頼した。
- ・市のホームページに、「地域クラブ設置の準備」と「地域クラブ参加募集」を掲載し、広報をした。

#### ●実施にあたって生じた課題

- ・既存の団体からは、「指導者不足、指導者の高齢化、行っている活動と中学校部活動の活動との相違等」を理由に受け入れに手が挙がらなかった。

#### ●工夫した点

ホームページに掲載したことで、興味をもった方が事務局に連絡をくださり、地域の指導者として参加してもらえた。

実証事業を活用した地域クラブ（プレ実施）の実施

#### ●実証事業を活用した地域クラブの実施

- ・プレ実施を6つのクラブで実施した。
- ・令和8年度に向けて新規に中学生を受け入れて活動する団体、市内参加生徒が10名以上集まった団体で活動した。
- ・支援の内容としては、指導者謝金、消耗品の購入、指導者のスポーツ安全保険料とした。

#### ●実施内容、工夫した点等

- ・月に2回程度（土or日）、市内の公立中学校施設を中心に活動した。
- ・指導は、地域指導者と希望した教員（兼職兼業）で行った。
- ・参加生徒の保護者対象に事前懇談会を開催し、今回の地域クラブ活動の目的を説明し、保護者からの疑問点・心配事に答えた。
- ・活動開始し前に、地域指導者と参加する部活動顧問と事務局で懇談を持ち、活動方針、活動内容、生徒情報などの摺り合わせを行った。

令和8年

令和8年新チーム発足時以降 休日の地域クラブ活動の実施

#### ●地域クラブ活動の本格実施

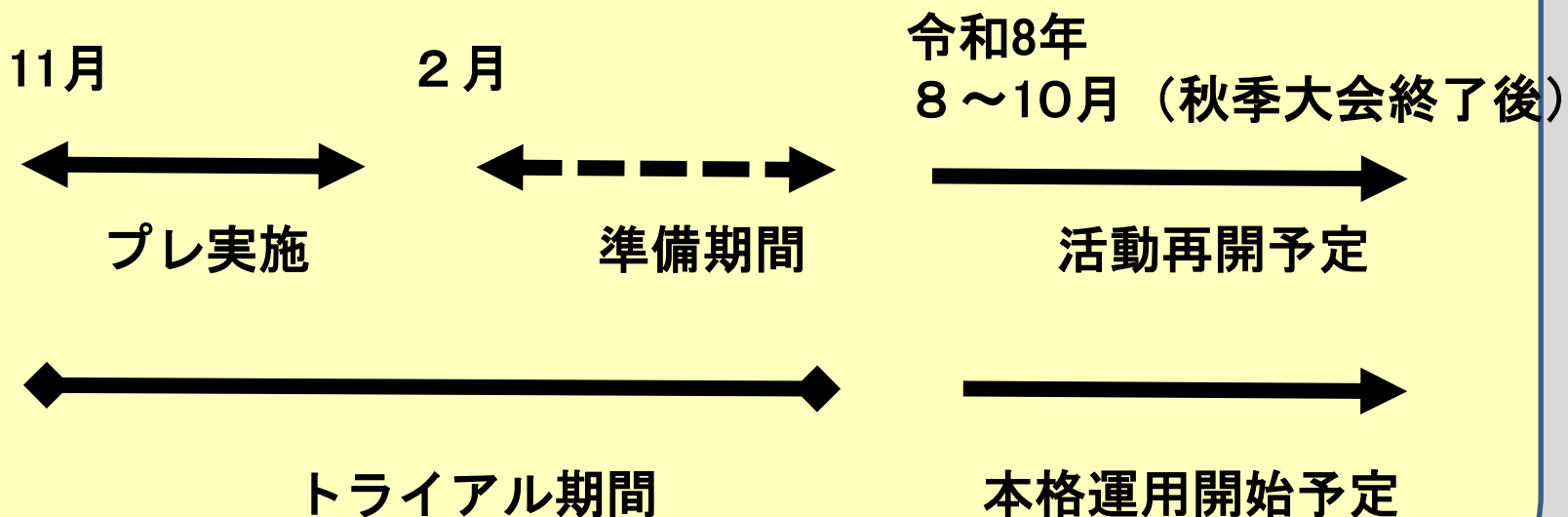
- ・PTA総会などで、丁寧に説明をし保護者の賛同を得ていく。
- ・地域クラブ設置要綱、地域クラブ指導者要綱、地域クラブ補助金要綱などを定め、詳細に内容を詰めていく。
- ・綿密にスケジュールを立て「地域クラブ立ち上げの募集」「参加生徒の募集」「指導者説明会」「指導者講習会」などを開催していく。

### 3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

## 休日の地域展開に向けて(浅口市)

### 本格運用に向けた地域クラブのロードマップ



**令和7年度**

**文化部活動改革（部活動の地域移行に向けた実証事業等）**

**地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業**

**岡山県 浅口市**

自治体名：岡山県浅口市

担当課名：学校教育課

電話番号：0865-44-7012

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

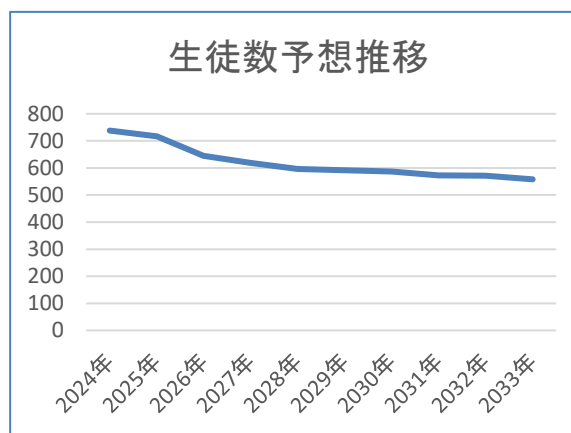
面積	66,46km <sup>2</sup>
人口	32,264人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	718人
部活動数 (文化部活動のみ)	6部活
地域クラブ活動数	1クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済 (検討委員会)
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

浅口市は、平成18年に浅口郡鴨方町、金光町、寄島町が合併して発足した。県内の市としては、面積は最小で、倉敷市や福山市のベッドタウンとなっている。市内には、2つの公立中学校と1つの義務教育学校あり、合わせて718名（令和8年1月）の中学生が在籍している。本市の生徒については、少しずつではあるが、減少している。3中学校の中でも、比較的規模の大きな学校では、部活動の種類が多く、生徒が活動したい部活動を選ぶことができる反面、生

徒数が少ない義務教育学校においては、部活動の選択肢がほとんどないのが現状である。また、義務教育学校の吹奏楽部では、部員が減少し合奏練習はできない状況である。

市内には大人が活動をしている文化連盟の専門部がいくつかあるが、伝統芸能や囲碁、俳句などの分野であるため、部活地域展開として中学生が参加するのは難しい状況である。



浅口市教育委員会調べ

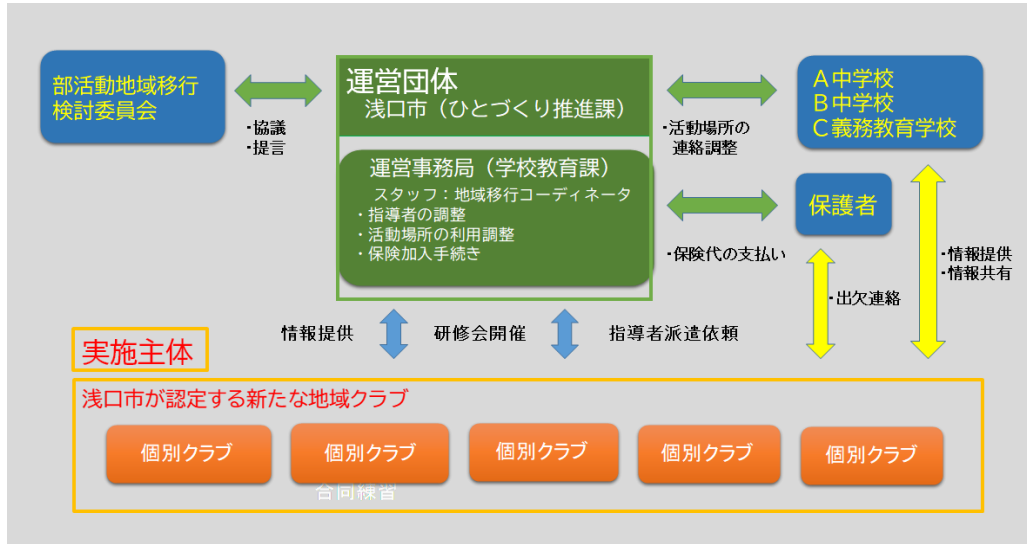


浅口市親睦協会HPより

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・地域クラブと学校との連携・調整 部活動改革の主幹
- ・指導者謝金、消耗品等の支払い、会計業務

##### ◎首長部局

- ・予算措置について
- ・体制整備等について

### 年間の事業スケジュール

令和7年5月 部活動顧問に対してアンケートの実施

令和7年8月 第1回部活動地域移行検討委員会

令和7年10月 プレ実施に向けて、計画・準備

令和7年11月 スタートアップ支援によるプレ実施  
2月末まで 月2回程度休日に実施  
(吹奏楽)

令和7年12月 第2回部活動地域移行検討委員会

令和8年2月 第3回部活動地域移行検討委員会

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1クラブ（3部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	4人	全体の運営スタッフ数	3人

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
浅口吹奏楽クラブ	市町村運営型	吹奏楽	・休日 2回	9:00～ 12:00	1年 15名 2年 10名 3年 4名	R7.11～ R8.2	4人	3人 (内、兼務3人)	800円 スポーツ安全保険料	練習のみ

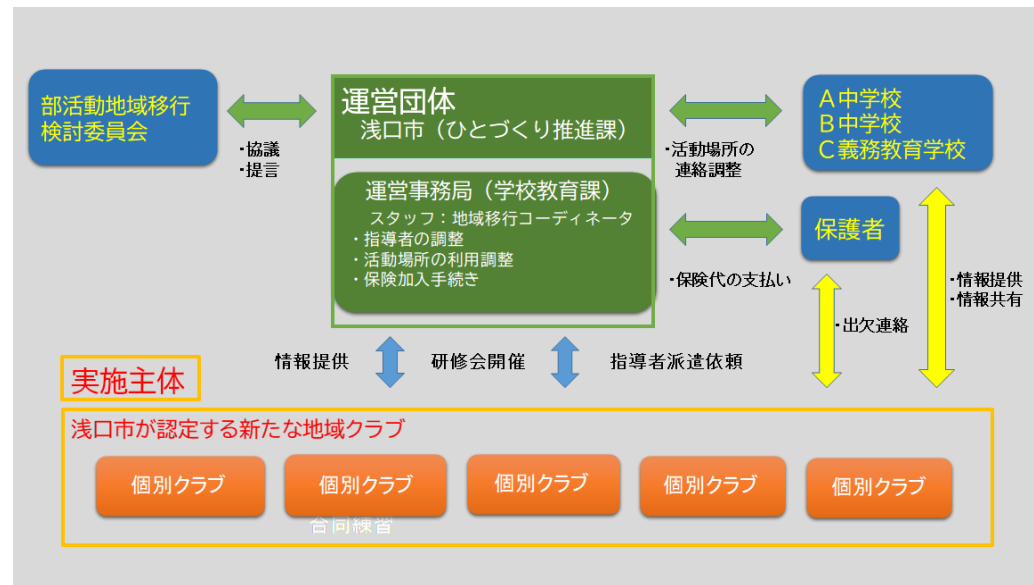
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●浅口吹奏楽クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽
運営団体名	浅口市教育委員会
期間と日数	11月～2月 月1回程度
指導者の主な属性	地域指導者、教員（兼職兼業）
活動場所	公立中学校 公共施設（公民館ホール）
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒 800円 指導者 800円

#### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

##### ●運営事務局

役割：指導者の確保、参加生徒募集、日程調整、施設の調整を行う

##### ●指導者 4名

役割：活動場所の準備・片付け、用具の準備、生徒の指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 事務局内でも、学校教育課とひとづくり推進課（生涯学習担当課）と連携を密にし、両課が継続的に話し合いの場をもち、学校教育と社会教育両面から取り組みを進められるように取り組んだ。
- 部活動地域移行検討委員会複数回開催し、学校、関係団体、地域の意見を聞きながら、実情にあった地域展開の実現を目指した。
- 市長部局とは、地域クラブを立ち上げた時に実現可能な公的支援等について、検討を重ねた。

##### 取組の成果

○部活動地域移行検討委員会を開催し、学校、関係団体、地域の方から様々な意見を聞くなかで、ロードマップに示している「令和8年新チーム発足時以降、休日の活動は地域クラブとして活動する」を実現するためにクリアすべき様々な課題を、より明確にすることができた。会の中では、今後のあり方についての議論が深まり、参加者全員が自分事として、考える意識が高まってきている。

##### 今後の取組における課題

○市長部局とは、既存のスポーツ少年団に対する補助制度と新たな地域クラブに対する支援策との整合性について問題点を指摘された。また、持続可能な取組にしていくためには、補助金のあり方や実施主体の人材確保についても大きな課題である。また、地域展開後の具体的な業務や対応のイメージが描ききれていない部分もあり、スムーズな運営や支援の拡充が必要である。

##### 課題への対応方針

- 今後は、これまでに明らかとなった課題について具体的な対応策を講じていく予定である。まず、運営団体や実施主体の人材不足については、地域への積極的な募集や広報を進めることで、人材確保に向けて準備を進めていく。
- 市長部局とは、持続可能な組織作りや公的支援策について協議を進めていく必要がある。
- 継続的に検討委員会を実施し、学校や関係団体、地域の意見にしっかりと耳を傾け、課題解決に向けて取り組みを継続していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 中学校の教員に対して、休日の部活動が地域クラブ活動に移行した場合の自身の関わり方についてアンケートを実施。
- 現顧問との懇談を通して、休日の部活動が地域クラブ活動に移行した場合の課題等について聞き取りを行った。
- 地域クラブ活動を巡回し、活動の様子の確認や指導者へのヒアリングを行った。

##### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 地域クラブ活動の指導者や参加者のスポーツ安全保険への加入手続きを代行した。
- 指導者から問題点や課題等を聞き取り、活動で困っている点や心配なことについてなるべく早く解決できるように取り組んだ。
- 活動実施日の連絡や参加者の出欠確認のために、コミュニケーションアプリの活用を紹介した。

##### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 浅口市地域クラブ認定要件を定め、要件を充たしている団体に対してプレ実施を行った。
- 参加者は、スポーツ安全保険への加入を必須とし受益者負担での対応をお願いした。また、指導者全員に教育委員会で保険をかけた。

##### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 本年度のプレ実施団体には、現中学校顧問が地域クラブの指導者として最低1名は参加しているため、活動中の生徒同士のトラブルや事故等が発生した場合は、顧問から保護者、学校、事務局に連絡し、迅速に対応する体制ができていた。今後は、学校の教員がいなくても、トラブルに対応できる体制整備を進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

### イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- 市内に既存する全ての専門部に対して、中学生の指導の依頼を行った。
- 市のホームページに、「地域クラブ設置の準備」と「地域クラブ参加募集」を掲載し、広報をした。
- 指導者とは、個別に話し合いや研修を行い、コンプライアンスの問題や指導のあり方等について指導をした。また、一方的な話にならないように指導者の思いや考えをきくことで、よりよい活動となるように留意した。

##### 取組の成果

- ホームページで広報し、地域クラブの指導者を募集した。
- 指導者とは、個別で話をすることで、一方的な話にならずに、様々な話をすることができ、その方の人となりや考えをしっかりと聞けたり、市の状況について話をすることができたりすることで、市の取組への理解が深まった。関係性が深まったことにより、別の指導者を紹介してくれたこともあった。

##### 今後の取組における課題

- 現在、活動を進めていく上で、指導者の人数が足りていない。
- 指導者の質を上げていくには、継続的で定期的な研修会が必要である。そのためには、早めに日程調整を行い、計画を前もって立ておくことで参加しやすい状況を作る。

##### 課題への対応方針

- 地域クラブ指導者要綱を作成しホームページ等で広報することで、新たな指導者の確保に繋げていく。
- 地域展開についての周知を進めていくことで、地域人材の掘り起こしをすすめて、人材確保を進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- 近隣市町（浅口市・笠岡市・井原市・里庄町・矢掛町）の担当者が集まり、各市町の取組みの現状について情報交換をおこなった。
- 単一の自治体だけでは生徒も指導者も少ない状況であり、他市町との連携の必要性を確認した。

##### 取組の成果

- まずは、各市の担当が集まり、顔合わせをすることで、関係性を構築することができた。
- 他市の状況を共有することで、共通の問題や市ごとの課題がわかった。
- 他市町の生徒も受け入れ可能な地域クラブを紹介する「広域広報紙」を作成することになった。

##### 今後の取組における課題

- 地域クラブ化に向けては、自治体ごとに取り組み状況に大きな隔りがある。地域クラブの立ち上げに至っていない自治体もある。
- どの市町も少子化が進んでおり、単独では、成り立たない団体競技がでてくることが予想される。市町を超えて、生徒を受け入れ、活動できる環境づくりが課題である。

##### 課題への対応方針

- 取り組みが進んでいる自治体の例を参考に、まずは各自治体内に地域クラブを立ち上げる。
- 継続して、情報共有を行い、定期的に課題の整理を行う。
- 市町を越えて生徒を受け入れる仕組みづくりを構築していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

- スタートアップ支援によるプレ実施を1つのクラブで実施した。
- スタートアップ支援の条件としては、令和8年度に向けて新規に中学生を受け入れて活動する団体、市内参加生徒が10名以上集まった団体とした。
- 支援の内容としては、指導者謝金、消耗品の購入、指導者のスポーツ安全保険料とした。

##### 取組の成果

- 市内3中学校に所属する吹奏楽部員61名中29名の生徒が参加できた。
- 2名の教員（兼職兼業で参加）に加え、2名の地域指導者が参加し、活動を実施することができた。
- 学校と連携をしながら、活動をすることができた。

##### 今後の取組における課題

- 関係機関との協議や実施する上での様々な調整に手間取り、地域クラブ活動の開始が遅れたことによりプレ実施の期間が短くなってしまった。
- 登録がうまくできていない生徒がおり、事務手続きの仕方や周知の仕方などは課題である。
- 保険代を集金したが、お金の支払い方法についても課題である。

##### 課題への対応方針

- 令和8年新チーム発足時以降に地域クラブ活動をスムーズにスタートさせるために、綿密にスケジュールを立てて関係機関と連携し、取り組みを進めていく。
- プレ実施活動での問題点や改善点を生徒や保護者、指導者から聞き取り、改善していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

- 実証事業の委託金を活用し、指導者謝金、消耗品の購入、指導者のスポーツ安全保険料をまかした。
- 参加生徒には、スポーツ安全保険料を支払ってもらった。

##### 取組の成果

○今年度は、受益者負担としてはスポーツ安全保険料のみだったため、保護者の理解が得やすかった。支払い方法が、現金での対応だったため、事務局の事務が繁雑になった。

##### 今後の取組における課題

○次年度、地域クラブ活動を本格実施するにあたっては、指導者謝金や消耗品の購入のために月会費を求めていく必要がある。現在は、具体的な費用負担の額を示していないので、保護者も不安に思っている状況がある。保護者の負担が増えすぎないように、市で費用の補助ができるように市長部局とも協議をしながら、地域展開の環境整備を進めていく。

##### 課題への対応方針

○会費は、各クラブが指導者・保護者で相談し、自由に設定する予定である。可能な限り低廉な月会費になるように、公的支援（市補助金）を求めていく。

支払い方法については、現金での支払いとなると、手続きが煩雑になることが予想される。保護者、事務局双方になるべく負担なく、スムーズな支払いができるように準備を進めていく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○市内の公立中学校音楽室と市内公共施設（公民館大ホール）で活動した。

##### 取組の成果

- 全ての施設を減免措置で利用したので、費用を抑えることができた。
- 学校以外での活動は、楽器の運搬が大変であることがよくわかった。

##### 今後の取組における課題

- 公立中学校音楽室で活動する場合は、校舎の解錠と施錠の必要があり、学校部活動の顧問教員（兼職兼業）に委ねることになった。
- 市内公共施設（公民館大ホール）での活動は、打楽器等の大型楽器の運搬が思った以上に大変だった。中学校では、生徒が4階の音楽室から1階まで運び、その後は運営スタッフと指導教員で、市公用車を2台使い、中学校と練習会場を2往復して運搬した。

##### 課題への対応方針

○中学校施設を利用するよりは、公共施設を利用し一カ所集約で活動するほうが、地域クラブとして持続可能な活動になる。そのためは、施設の定期的な利用許可と、移動が困難な大型楽器の調達並びに施設内保管場所の確保が必要である。

施設利用と楽器購入の手立てについて、市関係部署と連携を取りながら、進めていきたい。

## 2.実証内容と成果①

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

実証事業を受託して2年目となるため、昨年度実施できた地域クラブ活動よりは、数を増やし内容を充実させ、持続可能な形になるように体制整備を進めていくことを目標とした。

今年度も、学校、関係団体、地域の代表者による部活動地域移行検討委員会を開催した。その会で、令和8年新チーム発足時以降に、休日の地域展開を目指すとしてロードマップを示し、様々な立場からの意見を聞きながら、実情にあった地域展開の実現を目指した。

また、地域クラブの活動となると、指導者への謝金や消耗品の購入など、保護者に対して受益者負担を求めることは避けられない。少しでも廉価な会費となるように、市長部局とは、地域クラブを立ち上げた時に実現可能な公的支援等について、話し合いを重ねた。

一方で、現状では、休日の活動が地域クラブとなっても、全てのクラブで地域指導者の確保のめどは立っていない。そのため学校の先生方の協力を仰ぐ必要がある。兼職兼業の手続きをして指導に携わる意思があるかどうかの聞き取りも行った。できるだけ休日の活動が止まることのないように、今後も地域への広報活動を続け、指導者の確保を進めたい。

#### ●成果の評価

吹奏楽で、昨年度に引き続き地域クラブ活動として活動することができた。月に一回程度の活動ではあったが、練習を重ねていく上で、3中学校から参加する人数が少しずつ増えてきており、学校を超えて、活動するよさが全体に広がっていると思われる。

市の大ホールを利用し、活動したときには、学校での活動と違った雰囲気練習や演奏することができ、充実感を感じている生徒が多かった。日頃少人数でしか活動できない学校にとって、大人数で、活動できる機会の確保は貴重であったようだ。活動終了後には、生徒や指導者にアンケートをとることで、取組の検証を行い、来年度以降の地域展開に向けてつなげていきたい。

#### ●今後に向けて

休日の地域展開の本格実施に向けては、受益者負担を求めることから保護者の理解と協力は不可欠である。これから開催される新入生説明会や次年度のPTA総会などで、丁寧に説明をし保護者の賛同を得ていきたい。また、ロードマップどおりに進めていくためには、地域クラブ設置要綱、地域クラブ指導者要綱、地域クラブ補助金要綱などを定め、詳細に内容を詰めていく必要と、綿密にスケジュールを立てて「地域クラブ立ち上げの募集」「参加生徒の募集」「指導者説明会」「指導者講習会」などを開催していく必要がある。

公的支援策については、引き続き市長部局と連携をとりながら進めていきたい。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料

【吹奏楽】（パート別練習）



【吹奏楽】（公共施設での全体練習）



## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和7年

部活動地域移行検討委員会の開催

●令和6年度から立ち上げた部活動地域移行検討委員会を継続して開催し、協議を進めた。

#### 参加者

地域移行支援アドバイザー、学校長  
PTA代表、学校運営協議会代表  
スポーツ協会・文化連盟・部活動顧問代表  
スポーツ少年団代表等

#### 議事

- ・国の動向や市の現状の確認
- ・令和7年度の取り組みについて提案
- ・令和8年度以降についての見通し

#### 協議内容

・今の現状で、ロードマップに示されている「令和8年新チーム発足時以降は、休日は地域クラブ活動にする」は実現可能かどうか、様々な立場からの懸念点について、意見交換を行った。

実証事業を活用した地域クラブ（プレ実施）への参加の呼びかけ

#### ●受け皿団体や指導者の募集

- ・既存の文化連盟に中学生の受け入れを依頼した。
- ・市のホームページに、「地域クラブ設置の準備」と「地域クラブ参加募集」を掲載し、広報をした。

#### ●実施にあたって生じた課題

- ・既存の団体からは、「指導者不足、指導者の高齢化、行っている活動と中学校部活動の活動との相違等」を理由に受け入れに手が挙がらなかった。

#### ●工夫した点

- ・部活動顧問が声かけをしたことで、教える子の高校生が、ボランティアで指導者として参加してくれた。

実証事業を活用した地域クラブ（プレ実施）の実施

#### ●実証事業を活用した地域クラブの実施

- ・プレ実施を1つのクラブで実施した。
- ・令和8年度に向けて新規に中学生を受け入れて活動する団体、市内参加生徒が10名以上集まった団体で活動した。
- ・支援の内容としては、指導者謝金、消耗品の購入、指導者のスポーツ安全保険料とした。
- 実施内容、工夫した点等
  - ・月に1回程度（土or日）、市内の公立中学校と公共施設で活動した。
  - ・指導は、地域指導者と希望した教員（兼職兼業）で行った。
  - ・活動開始し前に、地域指導者と参加する部活動顧問と事務局で懇談を持ち、活動方針、活動内容、生徒情報などの摺り合わせを行った。

令和8年

令和8年新チーム発足時以降 休日の地域クラブ活動の実施

#### ●地域クラブ活動の本格実施

- ・PTA総会などで丁寧に説明をし、保護者の賛同を得ていく。
- ・地域クラブ設置要綱、地域クラブ指導者要綱、地域クラブ補助金要綱などを定め、詳細に内容を詰めていく。
- ・綿密にスケジュールを立て「地域クラブ立ち上げの募集」「参加生徒の募集」「指導者説明会」「指導者講習会」などを開催していく。

### 3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

## 休日の地域展開に向けて(浅口市)

### 本格運用に向けた地域クラブのロードマップ

